

學 報

Kobe College Bulletin

2025年 神戸女学院
創立150周年

150th
Bridging Generations

ISSN0389-164X

NO. 199

2024. 7. 11

神戸女学院
学報委員会

竹中藤右衛門氏のメッセージ

理事長・院長 飯 謙

創立150周年の日にまた一步近づきました。4月からはカウントダウンボードを設け、テレビでも報道されました。5月30日にはその500日前を数え、思いを新たにいたしました。いうまでもなく、創立150周年は単なる周年の催事ではありません。メイン・メッセージ“Bridging Generations”のもと、神戸女学院が祈り、受け、造り、引き継いできたことを確認し、さらに新たな創造を展望しつつ次世代に手渡していく大切な節目です。神戸女学院では昨年から図書館・史料室をはじめ関係者のお骨折りで、本学院の教育理念と内容と特色を学ぶ「神戸女学院創立150周年記念展示」を企画し、大切な財産を共有する機会としています。本年はその第2回目を、5月21日(火)から7月11日(木)まで図書館本館で「神戸女学院のヴォーリズ建築—Beauty Becomes a College—」と題して開催いたしました。本学院がまず神戸・山本通に創立されたこと、教育課程を整備し創立から5年にして中等教育課程を設置、その5年後に高等教育の萌芽となる高等科を創設。それがリベラルアーツのカレッジ部門となり、教場拡張の必要が増し、移転計画が具体化。同窓会の尽力による明石・大蔵谷の敷地購入やコーベ・カレッジ・コーポレーションの担い手であったエミリー・ホワイト・スミス氏の働きを覚える銘板など岡田山キャンパス開設に至るプロセス、さらにはアジア・太平洋戦争や阪神淡路大震災による困難を越えて今日に至り、そして創立150周年以降へのキャンパスと教育研究のあり方を考えさせる展示を備え、まことにスケール感の高い学習の場を提供してくれていま



す。いつの日にか本学院が博物館相当の施設を備える日が到来しましたら、常設展示となる資料が整理されたと喜ばしく感じました。

さて今回のこの展示に接し、改めて竹中工務店第14代当主、竹中藤右衛門氏の働きの大きさを思いました。竹中氏は1877(明10)年、名古屋のお生まれ。大阪商業学校(現大商学園高等学校)に学び、第12代当主となる父の逝去後に兄と共に家業を支え、その組織近代化を図りました。1909年に第14代藤右衛門を襲名し、17世紀に遡る竹中工務店を率いる立場につかれました。そうして、1920年代の関西学院西宮移転にあたりヴォーリズ設計による校舎建設に携わります。この出会いが、本学院の岡田山キャンパス移転への関わりにつながりました。当時の本学院は、明石・大蔵谷への移転を決定したものの、立地

や地盤の脆弱性、また大学部と高等女学部の校地共有などの問題から議論がまとまらない状態にありました。その中から東方への移転に変更し、岡田山を最有力の候補地としましたが、なお山積する課題を解決できずにおりました。その折り、竹中氏が事業家の常識を越えて、難題を引き受ける申し出をされ、暗礁に乗り上げていた移転事業が一気に動いたのです。その主要な事柄の一つは岡田山と明石の土地の等価交換でした。また技術的にもかなり高度な岡田山キャンパスの施工をも彼が請け負ったのです。加えて、岡田山の学舎の工事は着工後にも当初計画のやり替えや仕様変更が少なくなかったそうで、彼自身が手記の中で、「種々の困難に遭遇した」と書き残していますが、手に余る状況をいっそう増し加えたことでしょう。その手記とは、今回の展示会に出展された『ジャパン・アドヴァタイザー』（1934年2月11日付）という英字紙に掲載されたものです。紙面では10ページにわたって本学院新キャンパスの特集を組んでおり、その中で竹中氏の手記を英訳、掲載しています。本学院史料室顧問であられた渡辺久雄先生の『学院史料』第2号（1984年）のご論稿「ヴォーリズ博士と竹中藤右衛門氏」に邦訳版が再録されていたので読んでおりましたが、展示会に足を運ぶまで、その手稿を神戸女学院が所蔵しているとは知りませんでした。初めて目にし、筆圧強く、しかもはっきりとした筆致で、竹中氏の実直なご性格の一端に触れた想いがいたしました。この手記から、竹中氏が本学院の建設に注がれた熱情を読み取れるように感じました。

まず竹中氏は、施工を委ねられたこと、また現場の作業に従事した人に対する学院の配慮を感謝し、あらゆる忍びうる犠牲を忍び…学院の希望に沿う立派な殿堂を提供するとの志と決意を述べます。そして学院の計画が、神戸女学院のみならず日本の将来を見極めた「遠大なる理想のもと」に編まれていると敬意を評した上で、ヴォーリズ氏の設計が学院のたてた予算をはるかに上回るものであったことを、着工に先立って遭遇した「一大難関」とユーモラスに回想します。しかし竹中氏は、この費用が「遠く太平洋の彼方の友邦の同情ある多数の人々の浄財」によるもので、かつ本学院のキリスト教に基づく教育が日本の文化の発展に資するものであることを思

い、ご自身が大切にする「建築報国」の観点から「できる限りの犠牲を払って工事の完成に努力することに決心した」とし、さらに工事に関わった人が皆、「立派な校舎の完成という唯一の目的のために…自己を犠牲にして協力一致」した意義を印象づけ、「この…美しい精神が新校舎に移る学院を通じて全日本より全世界に押し広められることを願ってやまない」と続けます。

私は竹中氏がこの中で、他者に仕えるというキリスト教とご自身の信念を交差させている点に深い意味を思います。竹中氏は手記の中で「犠牲」という言葉を何度か用いています。それは当時の日本社会で語られていた滅私奉公とは異なる、自身の自発的な決断による隣人への姿勢であり、「太平洋の彼方の…人々」、具体的にはコーベ・カレッジ・コーポレーションが、遠い東洋の片隅に学ぶ未来ある女性のために見返りを求めず献げる営為（ギリシア語で伝統的にアガペーという語で言い表された「愛」）の中に生きていました。聖書は隣人愛（アガペー）を語りますが、それは固定された教義として無機的に反復するところではなく、各人がそれぞれの文脈で活かし、応用することを求める点に特徴があります。竹中氏は、ヴォーリズ博士とデフォレスト先生と協働し、本学院建学の折りをご自身の天職である学舎の建設をもって具現されました。

今回の展示会では、デフォレスト先生が移転に際して認められた“Beauty Becomes a College”を副題に置きました。この Beauty は目に映る外形的な美を強調しているのではありません。確かに冒頭の段落は「塔やアーチ」、「樹木や岩、谷」など可視的な建造物や景観に思いを寄せますが、後段では「年長の人、年若い人」の献げた「奉仕の愛」(Warm with the love of serving)——アガペーの精神に注意を促します。今回の展示会を通して、私たちは改めて、竹中氏が移転にあたってくださったアガペーが、デフォレスト先生の記された“Beauty”の一部であることを思わされます。いま創立150周年を迎えようとしています。私たちも同様に、デフォレスト先生の示される“Beauty”に、またアガペーに歩む課題と向かい合っていること、それを次世代へと、さらに「全日本から全世界へと押し広め」る希望を懐いていることを覚えて存じます。

新体制でのスタート

学長 中野 敬一



大学では「国際学部（英語学科、グローバル・スタディーズ学科）」と「心理学部（心理学科）」の2学部を新たに開設し、「音楽学部（音楽学科）」には新たに「音楽キャリアデザイン専攻」が誕生しました。また、2025年4月には理系の「生命環境学部」を新

設予定、「文学部（総合文化学科）」もカリキュラム改編を予定しています。

新学部等の設置に至る経緯については、『学報』198号に書かせていただきました。時代や社会の要請に応える重要性を認識しつつも、大学改革は大学の存在意義を大学自らが確認しながら主体的に行うべきであり、さらに、建学の精神や理念に基づく教育改革を進めることを基本方針とし、その結果としての改組・改編です。

高校生に分かりやすく学びの内容を可視化し、内容にも今までになかった新たな試みを加えていくという方向性も重視しました。幸いにも多くの方々に関心を寄せてくださり、志願者増に繋がっていることを嬉しく思っています。

引き続き、様々な改革を継続してまいります。大学が置かれている状況の悪化は予想以上に早く、迅速な対応は不可欠です。同時に、冷静になって本学がどういう大学であるべきかを考え続けることも極めて重要です。

女子大学の存在意義も問われています。高校生の共学志向が高まっているなかで、志願者確保のために共学化に踏み切った女子大学も増えています。このような状況ですが、本学は今後も変わらず女性教育に特化し続けてまいります。ジェンダーギャップの厳しい日本社会において、女性だけの環境で性別に左右されず、一人ひとりの個性が尊重されることにより、自信をもって主体的に生きる女性を育成することは本学の使命であります。これからご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

生命環境学部の設置に係る届出が6月21日付で文部科学省に受理されました。

中高部は元気です

部長 森谷 典史



大学は改組をすることで、神戸女学院大学の教育の魅力がより見えるようになり、改めて注目を集めています。中高部はどうですか？と思われる方もいらっしゃると思います。

タイトルに書いたように中高部は元気です。中高部では、コロナ禍で制限していた行事をすべて元通りに行うことができています。廊下を歩く生徒の楽しそうな会話や、笑い声が響き、なんといっても、朝の礼拝での讃美歌が講堂に響きわたり、今日も元気だと感じています。

4月のJ1デイクャンプ（TBS朝の情報番組THE TIME『全国！中学生ニュース』で放送されました）に始まり、入学式（『家庭画報』で神戸女学院の桜の取材があり、来年の4月号掲載）、春の遠足（六甲山登山）が行われました。そして、今日のお昼休みにはグラウンドでは、体育祭に向けてボンボンを持った生徒たちが曲に合わせて走りまわっています。

中学部では、4クラス化（1クラス人数が約35人の4クラス）を進めてきました。今年から、中学部は全クラスが4クラスとなり、教室内はゆったりとした感じですが、少しでも丁寧な対応ができればと考えています。

コロナも落ち着き、海外に目を向ける生徒たちも増えてきました。今竹翠様の寄付により作られた、TAK's Support 奨学金も、今年から1年間の援助する金額を増やすことにしました。しっかりと目的を持った留学を考えている生徒とご家庭にとってお役に立てればと願っています。

学外での学校説明会や校内でのキャンパス見学会も実施しています。神戸女学院中高部の魅力をしっかりと伝えることで、本校を希望される方々が1人でも多くなることを願っています。

この文章をお読みの皆様へ、神戸女学院中高部は元気です。これからも変わらない応援、支援をお願いいたします。

KCCだより

[コーベ・カレッジ・コーポレーション (Kobe College Corporation) は、1920年に神戸女学院のキャンパス移転の資金援助のため設立された、アメリカ合衆国イリノイ州を本拠地とする非営利団体 (NPO) です。以来、日米両国の学生生徒ならびに教員のためにさまざまな文化交流の機会を創出するなど、有形無形の力強い支援を行い、神戸女学院はその活動によって大きな恩恵を受けてきました。2004年、KCCはその活動範囲を拡大するために、名前の後に“Japan Education Exchange”という副称を付け加えて、通称 KCC-JEE となりました。今回は、KCC-JEE 役員の方々がそれぞれの近況を寄稿してくださいました。]

大東 由季 : President KCC-JEE

毎日、息子のホームスクール（アメリカでは選択可）と、KCC-JEE のボランティアの仕事に励んでいます。パンデミック後に、国際旅行ができるようになり、岡田山を訪問する機会を楽しみにしております。

Ken Tornheim

公認会計士で、KCC-JEE の会計担当として経験や知識を生かして運営の為に幅広く対応していただき、組織の重要な司令塔です。特にご自身の最近のニュースは無いとのことでしたが、いつも通り仕事に忙しい…。2月末には、2018年インターンだったKC 卒業生 2 名が訪問して、1 週間お世話になったようです。直子夫人、ありがとうございました！

中島 千晶

中高117期生で、KCC-JEE で VP Development を担当している中島です。ワシントン D.C. 近郊で、充実した日々を過ごしています。KCC-JEE ではウェブサイトのリニューアルが、もうすぐ完了します。新しいウェブサイトを通じて、神戸女学院の皆さまとより強い関係を結べることを期待してい



ます。また、プライベートでは、昨年12月に長女が誕生し、毎日成長を眺めるのを楽しみにしています。4月には初めて娘を連れて一時帰国し、新緑美しい岡田山近辺を感慨深く散策しました。

Angie Gasper

Angie Gasper continues as the High School Essay Contest Chairperson and along with the committee members and Takenaka-san, helps American high school students have a chance to study in Japan. The Essay contest was spotlighted at the 2023 Annual Meeting where former participants spoke about their experiences. Angie also had the wonderful opportunity to interview Pat Gottschalk for the spring 2024 KCC-JEE newsletter.

アンジー・ギャスパーは、引き続き、アメリカの高校作文コンテストの委員長を務め、実行委員のメンバーや竹中香苗さんとともに、アメリカから高校生が日本に留学する機会作りをしています。エッセイコンテストは、2023年度 年次総会で脚光を浴び、元参加者が自分の経験について話しました。また、2024年春の KCC-JEE ニュースレターのために Pat Gottschalk さんにインタビューする素晴らしい機会に恵まれました。

Elizabeth Hartung-Cole

Greetings!

My husband and I spent a delightful April traveling to and studying remarkable medieval villages in France and Denmark. Soon, I will be training secondary teachers of English language learners at conferences in both Massachusetts and New York. I am deeply honored to be on the KCC-JEE Board!

こんにちは！

夫と私は楽しい4月を過ごし、フランスとデンマークの注目すべき中世の村を訪れ、調査研究をしました。近々、マサチューセッツ州とニューヨーク州で開催される会議で、英語学習者の中等教育の教師をトレーニングする予定です。KCC-JEE の理事でいることを大変光栄に思います！

Cindi SturtzSreetharan

Cindi will co-lead a group of ASU students on a study abroad trip to Strasbourg, France. We depart May 31 and return June 21. The title of the study is "Culture, Food, and Health." We will visit many food production sites and also take a cooking class. The study abroad experience is a requirement for students in the Global Health degree program.

アリゾナ州立大の学生グループ数名を研究調査の為、フランスへ引率する予定です。5月31日に発ち6月21日に戻ります。研究目的は、「文化、食、健康」です。たくさんの食品製造現場へも訪問する予定で、調理実習もあります。グローバルヘルス学位取得プログラムとして、海外での就学体験が必要項目です。

Roberta Wollons

I am still working on my book about missionaries but I'm not finished yet. I will be so happy to announce the completion of the book when it's done!

ロベルタさんは、宣教師についてのご自分の本を今も執筆中で未だできあがっていないと。できあがったときには、本の完成をお知らせすることがどんなに幸せかと思います！

Abbi Mayland

KCC-JEE board member and former Gottschalk teacher, Abbi Mayland, and her husband, Anders, welcomed a baby girl named



Harper Mayland
2024年1月13日生まれ

Harper to their family on January 13th. Everyone is doing well, and their 3 year old, Harvey, is a great big brother. They are excited to spend the summer playing outside and spending time as a family of 4.

KCC-JEE 理事であり、元 Gottschalk 英語講師を務めた Abbi さんと、ご主人の Ander は、今年1月13日に Harper と名付けた女の子を授かりました。すべて順調で、3歳になる兄 Harvey は立派なお兄さんです。夏には、家族4人で屋外で遊んで過ごせる時間を楽しみにしています。

児玉 十代子

昨年後半から所用であわただしく過ごしましたが、ようやく落ち着き、家族や健康の大切さを改めて感じています。仕事では、タンザニアやエチオピアの事務次官と膝をつき合わせながら、水分野を通じて社会経済にどうやって貢献できるか考える日々です。



2023年9月
タンザニアへ出張時に撮影

Liv Coleman

I am finishing a sabbatical year at the University of Tampa. My husband also just accepted a job at the University of Tampa as a professor of computer science. So, we will both start working there again in the fall.

タンパ大学でのサバチカルの1年が終わろうとしています。夫は、タンパ大学でのコンピューターサイエンスの教授職に決まりました。この秋から、2人とも、またタンパ大学で働き始めることになりました。

杉浦 剛

昨年8月に56年住み慣れたシカゴを引き払って娘たち2人とその家族の住む加州北部、サンフランシスコ郊外に移って来ました。やっと土地にも慣れて快適な日々を過ごしています。KCC-JEE では理事会の人事担当、13人の理事の中には続投される方と共に辞任される方もおられその度に後任の探索に努めています。神戸女学院の創立150周年を来年に控え、更なる発展を祈っております。

水野 多美

4年2期 計8年のKC評議員を2024年3月に終え、4月から裏千家学園茶道専門学校、1年コースで留学生？をしています。30年以上のアメリカ生活の末、やっとたどり着きましたが、足は痛い、着物はさっさと着れない…悪戦苦闘しています。やりたいことができることに感謝して、京都生活を楽しんで、来春の帰米を楽しみにします。



KCC-JEE ミーティングの様子

創立150周年に向けて

学校法人神戸女学院では、2025年に迎える創立150周年に向けて、現在下記の取り組みを進めております。

■新棟建設、西門からの歩車分離

理学館別館の解体が完了しました。これから新棟の建設工事を行います。



■正門および門衛舎の改修

耐震性能強化のための解体修理を行っています。



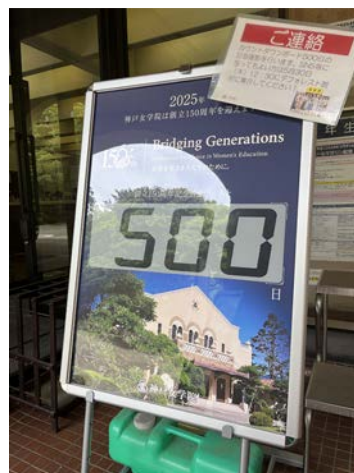
■ユニバーサルマナープログラムの実施

2023年度より大学1年生と高校1年生全員を対象にユニバーサルマナー検定3級講座を実施しています。



■カウントダウンパネルの設置

2025年10月12日の150周年創立記念日に向けて、中高部と大学それぞれパネルのお披露目を行いました。



■創立150周年記念特設サイトに新コンテンツを追加

創立150周年記念特設サイトに、社会で活躍する卒業生の応援メッセージの掲載を開始しました。今後、随時メッセージを追加していく予定です。

【サイト URL】 <https://150th.kobe-c.ac.jp/>

(神戸女学院150周年事務局)

神戸女学院創立150周年記念展示Ⅱ

「神戸女学院のヴォーリス建築
—Beauty Becomes a College—」

開催について

神戸女学院創立150周年記念展示Ⅱ 岡田山移転90周年「神戸女学院のヴォーリス建築—Beauty Becomes a College—」が2024年5月21日から7月11日まで、図書館本館ロビーと閲覧室において開催されました。

本展示では、往時の山本通キャンパス、幻の大蔵谷キャンパスを紹介し、岡田山キャンパス移転から第二次世界大戦の戦禍と阪神淡路大震災を乗り越え、現在建築中の新棟まで、岡田山移転90周年を迎える神戸女学院の姿を、移転当時の建築理念とともにお伝えしました。(株)一粒社ヴォーリス建築事務所のご厚意によりお借りした「原図 校舎配置図」をはじめとする岡田山キャンパスの原図4点を中心に、(公財)近江兄弟社よりヴォーリス氏及びご夫妻の写真を、(株)竹中工務店からは当時の写真等を、(株)日建設計からは新校舎の模型等を、(公社)神戸女学院めぐみ会からは関連資料をお借りして展示しました。

初日である5月21日には11時20分から図書館本館ロビーにおいて来賓の皆様をお招きし、オープニングセレモニーが開催されました。

学長室課長の司会のもと、中野敬一学院チャプレンによって聖書が朗読され、学院成長の感謝とこれからの歩みへの願いを込めて祈禱が捧げられました。

来賓の方々13名の紹介に続いて、飯謙院長のご挨拶、藏中さやか図書館長より展示品紹介がなされた後、院長、館長、来賓代表の大澤智氏((株)日建設計)によるテープカットが行われ、黙禱をもってセレモニーは終了しました。この後、来賓の方々は図書館職員の説明を受けながら、ロビー、閲覧室の展示を見学されました。

150周年を迎える2025年には、「神戸女学院創立150周年記念展示Ⅲ」を開催予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

(図書館課長)



オープニングセレモニーにて

「ユニバーサルマナープログラム」での 学生の活動報告

創立150周年記念事業の一つである「ユニバーサルマナープログラム」の一環として、2023年度より大学1年生と高校1年生全員が「ユニバーサルマナー検定」3級を受講しています。検定での学びをいかした活動として、2023年度は大学生による以下のプロジェクトを実施しました。

①西宮市三都市宣言周年記念式典での案内誘導

[9月4日] 下見を兼ねて当日の会場であるアミティ・ベイコムホールにて勉強会を実施。多様な来場者を想定して対応を検討。

[11月4日] 来場者の案内誘導を実施。今後に向けた改善案を提案。

参加者：8名

②西宮市立北口図書館の館内サインを提案

[2月9日] 図書館職員の方に館内を案内していただきながら、課題について説明を聞き、改善ポイントについてグループ発表を実施。

[2月10日] 実際に利用者の方にインタビューを実施。利用者の方の意見及び前日に検討した改善ポイントをふまえて館内サインのラフ案を作成して全員で共有。

[3月1日] 各自で作成したサイン案を図書館職員の皆様の前で発表。

参加者：5名

いずれも大学生たちにとっては、「ユニバーサルマナープログラム」での学びを実践する場として大変貴重な経験となりました。ご協力くださった西宮市職員の皆様に御礼申し上げます。

今後もプログラムでの学びを実践できるさまざまな企画を実施してまいります。

(総務課)



図書館内のサインの説明を受ける学生

仙台におけるデフォレスト先生 召天50周年記念行事

1973年7月2日に神戸女学院第5代院長 Miss Charlotte Burgis DeForest が天に召されて50年が経った。先生は日本で生まれ、日本での教育活動に生涯を捧げ、日本に葬られている。2023年7月1日、先生の召天50年を覚えてお墓のある仙台市北山輪王寺において記念の墓前礼拝が行われた。お墓の管理をしてくださっている仙台北教会とめぐみ会仙台支部の皆様をはじめ、学院関係者一同が中野敬一学院チャプレンの司式の下、デフォレスト家の墓前で祈りを捧げた。

飯謙理事長・院長は奨励で次のように証された。デフォレスト先生は仙台で人間関係を学び、深い平和への思いを育まれた。困難な時期にあつて時代を先取りし、他者に仕えるという普遍的な人間観を示し続けた。自由とは隣りに仕えることであり、先生はその橋渡しをした人であった。先生が持ち続けたのは「神が用いてくださる」という信仰であった。私たちも隣りに仕えるという使命を受け継いでいきたい、と。

墓前礼拝のあと場所を仙台ガーデンパレス3階コンベンションルームに移して茶話会が開かれ、津上智実本学名誉教授による講演「近年のデフォレスト研究」があった。デフォレスト先生は神戸女学院着任と同時にキャンパス移転のメリットを考えており、岡田山への道は先生なくしては語れない。先生は女子教育の理想を求め続けた。

一連の記念行事の根底にあったのは、思い出を掘り起こすことではなく、デフォレスト先生の思いや願いにそれぞれが思いを致し、その精神を受け継いでいきたいという願いであった。先生は今なお私たちを結び合わせる存在であり続けている。

(史料室 佐伯 裕加恵)

神戸女学院第5代院長
C. B. DeForest 先生 (1879-1973)
召天50周年記念墓前礼拝
2023年7月1日(土) 13時 仙台市北山輪王寺

司式 学院チャプレン 中野敬一

照	請				一	同
讃	美	歌	300 (1954年版)			〃
聖	書	ガラテヤの信徒への手紙5章13-14節		司	式	者
祈	請					〃
奨	励			理	事	長・院
				長	飯	謙
祈	請					〃
讃	美	歌	294 (1954年版)		一	同
祝	請					奨
						励
						者

ガラテヤの信徒への手紙5章13-14節

兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。
ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。

2024年度 愛校バザー報告

学院の大切な伝統行事である愛校バザーは、コロナ禍明けの昨年に続き、今年も愛校週間の週末、5月25日(土)に新緑が映える青空の下、無事に開催することができました。

早朝から進められた準備が整い、キャンパス全体で礼拝が守られた後、飯院長のご発声で開会が宣言されると、奉仕の愛、心に溢れる—Warm with the love of Serving—めぐみ会、中高部生徒・保護者、大学生と教職員らが、輝く全体(ひとつ)のもの—the radiant whole—となり、岡田山が最も活気づく一日の始まりです。すると、グラウンドの上空に珍しい気象現象「日暈(ひがさ)」—美しい虹色の環が現れ、その神秘的な光景を目の当たりにして、敬虔な気持ちが呼び覚まされたようでございました。

また今年は、創立150周年記念展示Ⅱ「岡田山移転90周年 神戸女学院のヴォーリズ建築 —Beauty Becomes a College—」にて、貴重な原図他展示品の鑑賞もお楽しみいただけることから、近隣の皆さまや入学を検討する女子生徒らに加えて一般の建築ファンの方々も多数お迎えし、めぐみの居場所集い旧交を温める同窓生らと共に、Beauty Becomes a College と謳われる母校の来し方行く末に思いをいたす日となりましたならば幸いに存じます。

こうして皆さまのお力添えのおかげで2024年度愛校バザーが盛大に開催できましたことを、感謝と喜びをもってご報告申し上げます。来年度はいよいよ創立150周年の年となり、2025年5月24日(土)に開催予定でございます。どうぞ挙ってお運びください。

(総務部長)



開会宣言直後に天空に現れた見事な日暈(ひがさ)

創立150周年記念募金

(神戸女学院教育振興会寄付金)

2023年度ご寄付実績

区 分	件数/冊数	金額(円)
同窓生	923件	41,098,420
在校生		
保護者(大学・中高)	166件	10,859,130
役員(教職員を除く)	11件	1,600,000
教職員・旧教職員	72件	6,817,000
法人・団体	30件	4,518,059
一般有志	16件	741,210
金銭によるご寄付計	1,218件	65,633,819
古本募金によるご寄付	5,616冊	656,841
寄付金額合計		66,290,660

※複数の区分に該当する方の場合、事務処理上妥当と思われる区分を選択しております。

2023年度 神戸女学院家庭会幹事会報告

実施日：7月8日(土)

内 容：2023年度役員・幹事の選出、2022年度決算
及び2023年度予算案の承認

チャプレン室報告

2023年度 愛校週間

〈 5月22日～5月27日 〉

・墓前礼拝

日 時：5月22日(月) 13時～16時30分

参加者：26名

場 所：再度山 神戸外国人墓地

有志が神港学園を訪問

・春季宗教強調日礼拝(創立者記念日礼拝)

「創立者イライザ・タルカット先生

(1836-1911) ―神戸女学院建学の祈り―」

日 時：5月26日(金) 10時35分～11時25分

講 師：飯 謙 院長

2023年度 宗教強調週間プログラム

〈 11月6日～11月10日 〉

11月6日(月)

早天祈祷会

人間科学部 心理・行動科学科 3年生

中高部礼拝 学長・学院チャプレン 中野 敬一

チャペルアワー 中野 敬一

中高部白熱教室

S役員会企画「ジョガトーク！」

11月7日(火)

早天祈祷会

高等学部 2年生

中高部礼拝

「わたしがそうなのです」

立教大学総長、キリスト教学校教育同盟理事長

西原 廉太

チャペルアワー

「行って、あなたがたも同じように」 西原 廉太

全教職員礼拝・永年在職者表彰式

「日々、自分の十字架を背負って」 西原 廉太

中高部白熱教室 卒業生

11月8日(水)

早天祈祷会

文学部 総合文化学科 3年生

中高部礼拝

「平和を実現する人はさいわい」

NPO 法人 CHARM 事務局長 青木 理恵子

チャペルアワー

「立ち位置を変える」

青木 理恵子

中高部 PTA のための宗教講話

「変えられること、変えられないこと」

学生寮夕拝

「神のご計画」

日本基督教団夙川東教会牧師 橋本 かおり

11月9日(木)

早天祈祷会

高等学部 3年生

中高部礼拝

「いのちを見つめて」

白百合女子大学カトリック教育センター教授

釘宮 明美

チャペルアワー

「苦しむ人から愛する人へ」

釘宮 明美

同窓生のための宗教講話

「再びの生――神谷美恵子をめぐって」 釘宮 明美

中高部白熱教室

白浜バプテスト基督教会牧師 藤藪 庸一

11月10日(金)

早天祈祷会

人間科学部 心理・行動科学科 4年生

中高部礼拝

藤藪 庸一

中高部 PTA のための宗教講話

藤藪 庸一

アッセンブリアワー 大学チャプレン 大澤 香

中高部白熱教室

卒業生達との語らい

2023年度 クリスマス

〈 礼 拝 〉

・点灯式

日程：12月4日(月)

奨励：中高部チャプレン

奏楽：大学聖歌隊ハンドベルクワイア

・中高部クリスマス礼拝

日程：12月20日(水)

説教：高槻日吉台教会牧師 吉岡 恵生

・大学クリスマス礼拝

「天使の声を聞いた羊飼いたちは、」

日時：12月22日(金) 12時～13時

説教：院長 飯 謙

・学院クリスマス礼拝

「人となられた神」

日時：12月22日(金) 18時30分～20時

説教：学長・学院チャプレン 中野 敬一

演奏：音楽学部、高等学部・中学部

指揮：松浦 修(音楽学部)・音楽科教諭(中高部)

奏楽：追中 宏美

〈 プレゼント報告 〉

送付先：大阪水上隣保館、神戸真生塾、社会福祉法人 牧人会白河めぐみ学園と白河こひつじ学園

〈 クリスマス献金報告 〉

中高部	28,543円
大学クリスマス礼拝	35,542円
学院クリスマス礼拝	88,437円
学生・教職員 献金箱	41,870円
合 計	194,392円

献金先内訳

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン
96,000円

大阪水上隣保館、釜ヶ崎いこい食堂、NPO 法人
CHARM、NPO 法人白浜レスキューネットワーク、
社会福祉法人「ゼノ」少年牧場「ゼノ」こぼと園
各10,000円

曙教会(長島愛生園) 8,000円

社会福祉法人光朔会オリンピア 5,392円

日本キリスト教海外医療協力会 5,000円

インド三浦後援会、日本基督教団部落解放セン
ター、社会福祉法人イエス団 真愛ホーム、社会福祉
法人あゆみ学園、日本基督教団兵庫教区長田活動セ
ンター、パシヤワール会、社会福祉法人関西盲人
ホーム、日本キリスト教社会事業同盟、国境なき医
師団、学校法人日本聾話学校 各3,000円

(チャプレン室)

2024年度 年間標語

忠実な^{しもべ}良い僕だ。よくやった。
お前は少しのものに忠実であったから、
多くのものを管理させよう。
(マタイ 25:23)

学院チャプレン 中野 敬一

主イエスによるとたとえ話からの引用です。ある人が僕たちに自分の財産を委ねて旅行に出ました。一人には5タラント、一人には2タラント、もう一人には1タラントを預けました。旅行から戻った主人に5タラント預かった僕が、それを活用して2倍に増やしたことを報告します。主人は「忠実な良い僕だ。よくやった」と褒めました。2タラント預かった僕も同様に増やしましたが、1タラント預かった僕は地の中に隠して何もしなかったと告白し、主人から叱られたのです。

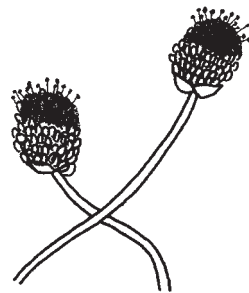
「タラント」はギリシア語で当時の通貨単位であり、「才能」や「能力」を表す英語のタレントの語源となった単語です。主イエスはたとえ話を通じて、神（主人）は人（僕）それぞれに才能や能力を預けられており、人はその賜物を十分に活かして隣人の喜びのために用いることが求められているのだと教えられています。

ところで、聖句は主人の言葉の一部であり、「忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。」というのが全文です。「主人と一緒に喜んでくれ」の直訳は「主人の喜びに入りなさい」です。

神戸女学院創立者の一人、イライザ・タルカット先生の墓地には、この聖句の一部が英語で刻まれています。

WELL DONE GOOD AND FAITHFUL SERVANT
ENTER THOU INTO THE JOY OF THY LORD

「よくやった。良い忠実な僕だ。主の喜びに入りなさい」とも訳される言葉は、神戸女学院のために、さらに、日本の人々のために自分のタラントを十分に活かして用いられたタルカット先生に相応しいものでありましょう。後に続いた人々もこの聖句を心に刻み、タルカット先生や先人の生き様を手本にしてこられました。今日を生きる私たちにもタラントを活かす生き方が勧められているのです。



大学報告

＜大学改革の取り組み＞

国際学部

2024年4月、国際学部英語学科、グローバル・スタディーズ学科は輝かしい第一歩を踏み出しました。

英語学科は、コミュニケーションのために英語を使いこなし、社会を変えていくチェンジメーカー力を養うことをディプロマポリシーのひとつに掲げています。演劇作品を実際に演じ表現する授業が始まり、全学部生履修可能な通訳・翻訳コースでは、AIについての学びも取り入れ、AIを正しく効果的に使い、英語を使う時に必要な技術力をも養います。また、言語や文学の背景にある文化や歴史に触れ、海外経験豊富な教員から学ぶことにより、英語の多様性にも気づきます。このような幅広く、深い学びを通して、英語で考え、発信する力を身につけ、英語を使い社会に貢献することを目指します。

グローバル・スタディーズ学科では、世界で起きている出来事を理論やデータをもとに多角的に学ぶと同時に、実際にフィールドワークや海外の大学の学生との交流を通して多様な背景をもつ人々の考え方を理解します。そして、自分にできることを考え、実行に結びつけられるよう、基礎、知識、方法、実践、創造という流れで4年間の学びを組み立てています。フィールドワーク科目を充実させ、海外の大学との共修科目も新設しました。国境や言語、文化、格差、ジェンダー、世代などの壁を越え、キャンパスでの学びを外につなげ、留学生とも一緒に学べる『境界』なき学び (Learning without Borders)』をモットーとしています。

国際学部は英文学科の伝統を活かし、広い視野で真実を見極め、物事を柔軟に考え、違いを超えて他者を思い、世界の平和につながる前向きな行動ができる学生を育ててまいりたく思っております。本学の学生として志を高く持った学生を輩出してまいります。

(国際学部長 白井 由美子)

心理学部

2024年4月心理学部心理学科が開設され、第1期生123名が入学しました。前身である人間科学部心理・行動科学科19年間の歩みを土台に、臨床心理学領域、行動科学領域に加え、新たに精神保健・福祉を加えた3領域を基礎から学び、3、4年生で専門領域を選択し、公認心理師、精神保健福祉士の2つの国家資格を取得するカリキュラムも選択できるようにしました。公認心理師・臨床心理士資格取得には大学院でさらに多くの実習体験を積むことが求められていますが、人間科学研究科臨床心理学分野を含めた6年一貫の学びが可能なのも本学部の特徴です。これまでも公認心理師、精神保健福祉士共に資格試験で全国平均を上回る高い合格率を維持していますが、今後も高い意識を持った心理専門職の養成に力を入れてまいります。

また新たに心理系キャリアサポートルームを開設し、資格にかかわらず「心理学で人と社会の架け橋になる」人材を養成すべく、4年間の学びを卒業後のキャリアに生かす道筋を学生に示し、明確な目的意識をもって学習に取り組めるよう、心理学のキャリア教育に力を入れるのも本学部の特徴です。心理系キャリアサポートルームでは、心理学を生かしたキャリアに就いている卒業生との交流会や公務員心理職の就職説明会を始め、数々の企画を計画しています。

2025年度中には、理学館別館跡地に新棟が建ち、心理相談室や心理実験室を新棟に移設することになっており、最新の実験機器等を備えた新棟で、先端の心理学の学びを提供する予定です。心理学科の教員の多くは、専門の研究領域と関連のある実践活動にも従事しており、これを学生への教育に還元することで、社会に役立つ心理学の学びを促していきます。

(心理学部長 石谷 真一)

<大学改革の取り組み>

音楽学部

音楽学部音楽学科は、2022年度より入学定員を46名から40名に減らした。その矢先、大学全体の学生数が急激に減少し、理事会からも早急な大学改革を強く要請され、大学改革として全学的な改組を行うことを告げられた。そしてそれまで数回定員割れを起こしている音楽学部を大学が維持していくのが難しいという通知を受け、音楽学部の存続をも危ぶまれた。我々はすぐさま存続の意思を申し入れ、改組・改革案を大学に提出するという流れになった。その改革案は既存の実技系専攻とは異なる新たな学生層に募集を広げ、新専攻を開設する。新専攻は、専門実技よりも音楽を社会で活用する応用力、幅広い音楽に関する専門的知識・技能、企画力と想像力、実行力、人間力を備えた共感性の高い人材の養成を目的とするものであり、入試段階で実技を必須とせず、基礎学力を重視する「音楽キャリアデザイン専攻」に決定。同時に、舞踊専攻は2024年度入試から学生募集を行わず、2023年生の卒業をもって専攻を閉じることも決定した。理由は、将来的な教員配置及び財政面に起因する。舞踊専攻の中心を担ってきた担当教員が2027年3月をもって定年を迎える。専攻を発展的に継続する場合は、後任の舞踊専任教員1名及び舞踊客員教授2名の人事枠が必要となる。また、舞踊専攻の公演実施に伴う公演費用を、毎年の特別予算でご承認いただくことも専攻維持には欠かせない。担当教員からの申し出もあり、2024年度からの新カリキュラムには、既存の舞踊専攻の要素を継承しないことを学科で決議した。2024年度から音楽学部音楽学科は、今までの音楽実技系を踏襲する形の「音楽表現専攻」と、新専攻「音楽キャリアデザイン専攻」の二専攻体制で走り出した。

(音楽学部長 松本 薫平)

文学部

文学部総合文化学科では、2025年度から開始する新しいカリキュラムにむけた準備作業を行っています。これまでは8つの専攻科目群を設け、主専攻24単位、副専攻12単位を履修するカリキュラムでした。従来のカリキュラムでは、「2つの専攻」の機械的な選択に陥りがちで、組み合わせは2つだけでいいのかといった問題を抱えていました。

そこで、新しいカリキュラムでは、「人間」「文化」「社会」という3つの領域による課題探究型のカリキュラムを目指しており、主題中心、問い中心の探索的な学びを推進します。また、学問分野を積極的に横断することによって、従来の専攻重視型のカリキュラムから、課題探究型の学びにむけたカリキュラム変更を進め、文学部総合文化学科ならではの新しいリベラルアーツ教育を実現したいと思います。新しく生まれ変わる文学部総合文化学科に変わらぬご支援を賜ることができれば幸いです。

(文学部長 建石 始)

人間科学部

人間科学部長の高橋大輔です。2025年度、人間科学部環境・バイオサイエンス学科は、生命環境学部生命環境学科に生まれ変わります。前身の環境・バイオサイエンス学科は、本学の教育の柱の一つ「リベラルアーツ教育」において、自然科学の領域を担ってきました。そして、きめ細やかな少人数教育を大切にしながら、地球環境から生命現象までを科学的に捉えるための教育や研究を展開してきました。生命環境学部では、これまで行ってきた教育と研究に加えて、今や社会に欠かせないICTやデータサイエンスの分野と、本学のヴォーリズ建築を教材とした環境と調和する建築に関する学びを新たに組み込みました。人と自然が共存する持続可能な社会を実現できる人を育てるため、より力強く生まれ変わる生命環境学部にぜひご期待ください。

(人間科学部長 高橋 大輔)

学部報告（国際学部）

2023年度

英文学科 New Student Day 2023

4月5日 12:15～15:00 LAⅡ-45、キャンパス
1年生57名、上級生リーダー8名、教員15名

私たちの手は未来を創るためにある ～日本での経験とバングラデシュでの挑戦～

渡辺 麻恵 氏

（エクマットラ・ハンディクラフト代表）

4月20日 11:00～12:30 L-38

気分よく働くために大事な事

梁川 奈央 氏（卒業生）

5月30日 9:00～10:30 LAⅡ-22

奥村准教授ゼミとボーリンググリーン大学合同授業

7月5日 11:00～12:30 めじラウンジ

やりたいことを追い求める力

ー国際協力という仕事に就いて感じること

児玉 十代子 氏

（卒業生、世界銀行勤務、KCC-JEE 理事）

7月21日 10:35～11:25 L-28

国際学部開設記念イベント

映画『メイド・イン・バングラデシュ』上映&ル
バイヤット・ホセイン監督と学生とのトークセッ
ション

7月23日 13:40～17:00 講堂 約250名

後援：西宮市、西宮市教育委員会、宝塚市、
読売新聞阪神支局、朝日新聞社神戸総局

POET OF THE BODY:

NEW YORK'S WALT WHITMAN

Karen Karbiener 氏（New York University）

7月26日 15:00～16:30 L-28

仁川学院高等学校高大連携協定模擬講義

「異文化理解とは

文化的アイデンティティを考える」奥村 准教授

9月8日 13:15～14:45 本学 約120名

「紛争、貧困削減とSDGs」 山崎 教授

11月17日 13:30～15:30 仁川学院高校 126名

奥村准教授3年生ゼミと Assumption College 合 同授業

10月18日 2限

第14回絵本翻訳コンクール

Jones 准教授、中村 准教授、奥村 准教授、

増田 沙奈 氏（卒業生、翻訳家）

応募申込：6月1日～8月1日 908件

作品応募：8月1日～8月31日 485作品

結果発表：10月12日 英文学科ウェブサイト

8作品

受賞者の集い：10月21日 13:00～14:00

オンライン

受賞者8名、審査員3名

文学部講演会「私」を生きる

ーLIVE AS YOURSELFー

西村 宏堂 氏（アーティスト、僧侶）

10月21日 14:00～15:15 LAⅠ-21 約170名

2023年度神戸女学院大学英語英文学会

特別講演：“特殊言語”字幕翻訳者になるには

松岡 環 氏（アジア映画研究者、字幕翻訳家）

研究発表：我が国におけるSDGs（持続可能な開
発目標）の深化ー関西企業の取り組み
を中心にー

森田 鮎奈 氏

（卒業生、公益財団法人太平洋人材交流センター勤務）

11月3日 14:00～16:00 オンライン 約32名

スウェーデンから伝えたいこと

～翻訳家として、子育てを経験して～

久山 葉子 氏（卒業生、翻訳家）

11月22日 11:00～12:30 L-20

夢を叶え、結婚、転職、出産を経験した私が皆さんに伝えたいこと

三浦 洋子 氏

(卒業生、宮腰精機株式会社通訳翻訳業務)

11月28日 9:00～10:30 LAⅡ-22、オンライン

Field Study in 韓国報告会

E238(2)Field Study B履修学生、

瀬戸 准教授、南出 准教授

12月1日 10:35～11:25 L-28

ジェンダーの呪いから自由になろう

アルテイシア 氏 (KCH 卒業生、作家)

12月14日 13:20～14:50 EB-002

THE STAKES OF TRANSLATION IN THE AGE OF WORLD LITERATURE

Sara Kippur 氏 (Trinity College)

12月21日 16:40～18:10 L-10

Lesley University との学生交流

1月11日 午前 南京町と菊正宗資料館

午後 本学でディスカッション

参加学生：グローバル・スタディーズコース3年生ゼミ生 + Lesley University 学生14名

教員：南出 准教授、瀬戸 准教授、山崎 教授

Lesley University 教員：

久保 准教授 (元本学訪問研究員)、

Lisa Fiore 先生、Kate Castelli 先生

入学前交流会

2月7日 10:00～11:30 オンライン

新入生38名、上級生7名、教員3名

兵庫県立宝塚西高等学校との高大連携による模擬講義

中村 准教授

「訳詞作りワークショップ」

2月9日 10:40～12:30 宝塚西高校 2年30名

2月13日 14:00～15:30 めじらウンジ 2年30名

「字幕作りワークショップ」

2月19日 10:40～12:30 宝塚西高校 1年40名

3月4日 10:40～12:30 宝塚西高校 1年40名

第19回大阪アジア映画祭映画字幕制作

「Rickshaw Girl」(リキシャ・ガール)

(Amitabh Reza Chowdhury 監督)

南出 准教授、Jones 准教授

作業：2月2日、5日、6日 オンライン、

19日 L-3

上映：3月1日 21:00、4日 10:30

シネリーブル梅田4

シンポジウム：「『リキシャ・ガール』が映画(えが)く街」 南出 准教授

3月2日 14:30～16:00

大阪中之島美術館1階ホール

2024年度**国際学部 New Student Day 2024**

4月4日 13:45～16:00 LAⅡ-45、キャンパス

新入生96名、上級生リーダー8名、教員15名

グローバル・スタディーズ学科 New Student Day

4月24日 12:35～13:15 めじらウンジ

新入生35名、教員5名

(国際学部長 白井 由美子)

※2023年度の活動は文学部英文学科として記載

学部報告（文学部）

2023年度

【総合文化学科 New Student Day 2023】

・ 4月7日(金) 10:20-15:00

@ LA I-21、キャンパス

「謎解きゃんぱす」

参加者：1年生163名、教員22名

【総合文化学科講演会】

・ 7月7日(金) 11:30-13:00

@ D-206

「ルワンダで義足を作る—25年目の再スタート」

講 師：ルダシングワ(吉田) 真美 氏

ガテラ・ルダシングワ・エマニュエル 氏

参加者：126名

・ 11月14日(火) 15:00-16:30

@ D-206

「戦時下を生きるウクライナの若者たち」

講 師：玉本 英子 氏

参加者：21名

・ 2024年2月23日(金) 13:30-17:00

@ L-28

「アイヌ文化と人をつなぐ—進化形アイヌ文化事業」

講 師：北原 モコットウナシ 氏

参加者：93名

【文学部講演会】

・ 10月21日(土) 14:00-15:15

@ LA I-21

『「私」を生きる—LIVE AS YOURSELF—』

講 師：西村 宏堂 氏

参加者：161名

【学科別集会】

・ 7月21日(金) 10:35-11:25 (アッセンブリアワー)

@ ソールチャペル

「価値は教育できるか

—ソーシャルワーク演習の課題—」

講 師：岩間 文雄 教授

参加者：24名

・ 12月1日(金) 10:35-11:25 (アッセンブリアワー)

@ ソールチャペル

「谷崎潤一郎と中国—異国に求めるのはなにか—」

講 師：李 志願 客員研究員

参加者：18名

【専門部会】

・ 6月29日(木) 16:40-18:10

@ L-8

「偶像禁止の物語と近現代芸術

—表現における「否定」の契機をめぐって—」

講 師：三木 順子 教授

参加者：9名

・ 2024年1月16日(火) 16:40-18:10

@ L-8

「なぜ紀伊半島には原発がないのか

—熊野灘漁民の連帯と知恵に学ぶ—」

講 師：景山 佳代子 准教授

参加者：15名

【卒業論文関係】

・ 9月19日(火)～29日(金) @対面・Moodle 併用

「卒業論文中間報告会」

参加者：4年生222名、3年生172名

・ 2024年1月31日(水) 10:30-14:00

@めじらウンジ、EB-002、EB-004、EB-101、

EB-103

「卒業論文発表会」(ポスター発表会)

参加者：4年生222名、3年生172名

【高等学校との連携】

・ 7月19日(水)～28日(金)

「育英高等学校連携授業」

担当者：飯 謙 院長、三杉 圭子 教授、

金田 知子 教授、河島 真 教授、

北川 将之 教授、建石 始 教授、

景山 佳代子 准教授

・ 11月9日(木) 10:15-14:30

「和歌山信愛高等学校キャンパス見学会」

参加者：15名(教員2名)

担当者：建石 始 教授

・ 12月15日(金) 12:20-15:30

「梅花高等学校キャンパス見学会」

参加者：71名

担当者：建石 始 教授、傅 喆 准教授、

戸江 哲理 准教授

- ・ 2024年 3月 1日(金)
「神田女学園高等学校探究活動
「NCL（ニコル）AWARDS」」
担当者：清水 学 教授
- ・ 2024年 3月 7日(木)
「宝塚西高等学校高大連携授業」
担当者：建石 始 教授
- ・ 2024年 3月 26日(火)
「大阪信愛学院高等学校連携校出題テーマ研究
プログラム」
担当者：岩間 文雄 教授、三木 順子 教授、
桐生 裕子 准教授、栗山 圭子 准教授、
藤岡 達磨 専任講師

2024年度

【総合文化学科 New Student Day 2024】

- ・ 4月11日(木) 11:00-14:00 @宝塚ホテル
参加者：1年生188名、教員25名

【ガイダンス関係】

- ・ 4月5日(金) 10:30-11:30 @ L-28
参加者：2年生122名、教員7名
内 容：教職、プロジェクト科目、留学、
キャリアガイダンス他

(文学部長 建石 始)



総合文化学科講演会（7月）の様子

学部報告（音楽学部）

2023年度

[神戸女学院大学音楽学部 新人演奏会]

4月20日(木) 住友生命いずみホール 18:30開演

出演：学生12名

[第22回 修士課程修了披露演奏会]

4月26日(水) 兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール 19:00開演

出演：学生3名

[第30回サマーコンサート ベガにオーケストラが
やってきた！ vol. 12 ～神戸女学院大学音楽学部
オーケストラ in 宝塚～]

6月26日(月) 宝塚ベガ・ホール 18:30開演

なかにし あかね作曲、八木澤 教司編曲

「今日もひとつ」(吹奏楽伴奏版)

G. プッチーニ作曲、後藤 洋編曲

歌劇《トゥーランドット》より

牧野 圭吾作曲

行進曲「煌めきの朝」

八木澤 教司作曲

吹奏楽のための音詩「輝きの海へ」 他。

出演：神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ

神戸女学院大学音楽学部コーラス

指揮：なかにし あかね、松浦 修、八木澤 教司、

稲本 渡

6月27日(火) 宝塚ベガ・ホール 18:30開演

J. シュトラウス作曲

ポルカ・シュネル〈憂いもなく〉

〈鍛冶屋のポルカ〉

C. グノー作曲

歌劇《ファウスト》より〈宝石の歌〉

P.I. チャイコフスキー作曲

バレエ組曲《白鳥の湖》より

L.v. ベートーヴェン作曲

交響曲第5番 ハ短調〈運命〉 他。

出演：神戸女学院大学音楽学部オーケストラ

ソプラノ：学生1名

指揮：松浦 修

[神戸女学院大学音楽学部

第30回オータムコンサート]

10月4日(水) 兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール 19:00開演

出演：学生9名

[神戸女学院大学大学院音楽研究科2年生による
音の饗宴 vol. 17]

11月9日(木) 兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール 19:00開演

出演：学生6名

[神戸女学院大学音楽学部定期演奏会 '23]

12月1日(金) 兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO 大ホール

八木澤 教司作曲

優位な曲線～ヴァシリー・カンテディンスキー

に寄せて [改訂初演]

福田 洋介作曲

グローリア～ブクステフーデの主題による幻想曲

[委嘱作品・世界初演]

松下 耕作曲

女声合唱とピアノのための「三つの詩編」

青少年のための「アヴェ・マリア」

クーセヴィツキー作曲

コントラバス協奏曲 作品3

チャイコフスキー作曲

交響曲第5番 ホ短調 作品64

出演：神戸女学院大学音楽学部オーケストラ

神戸女学院大学音楽学部コーラス

コントラバス：学生1名

指揮：松浦 修、八木澤 教司、山口 英樹

ピアノ：浦部 晏未

[神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻
第15回 卒業公演]

12月7日(木)、8日(金) 18:30開演

9日(土) 13:00、18:00開演

エミリー・ブラウン記念館スタジオA

[揺れる森の中で]

振付：島崎 徹

音楽：Oliver Davis

[Separate reality]

振付：島崎 徹

音楽：Ametsub

[青の印象]

振付：島崎 徹

音楽：Johann Sebastian Bach

出演：学生 6 名

[神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ

ふれあいコンサート Vol. 1]

2024年 2 月10日(土)

エミリー・ホワイト・スミス記念講堂 16:00開演

近藤 礼隆作曲

風がきらめくとき

～2024年度吹奏楽コンクール課題曲～

L.v. ベートーヴェン作曲

ピアノ協奏曲 第 3 番 ハ短調 Op. 37

[ペイラック編・吹奏楽版]

神長 一康作曲

フランキンセンスの香り～クラリネットとウインドオーケストラのための～ [世界初演]

稲本 響作曲

NHK 大河ドラマ「どうする家康」より

進！軍！Awakening メインテーマ～暁の空～

福田 洋介作曲

さくらのうた

八木澤 教司作曲

幸せを運ぶ翼～兵庫五国の絆 他。

出演：神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ

ピアノ：崎谷 明弘、学生 2 名

クラリネット：稲本 渡

指揮：福田 洋介、八木澤 教司、松浦 修

[Here we are!]

振付・演出：島崎 徹

音楽：René Aubry、Triakel、Nenad Jankovic、
Taraf de Haïdouks、Peter、Paul and Mary、
Daphne Panouria、Tom Waits

出演：1 年生 13 名

2 年生 2 月29日 5 名

3 月 1 日 5 名

[青の印象]

振付・演出：島崎 徹

音楽：Johann Sebastian Bach

出演：4 年生 6 名

[South～忘れられし民族のために～]

振付・演出：島崎 徹

音楽：Inka Mbing & Her Young Atayal Friends、
泰武古謠傳唱、Sangpuy

出演：2 年生 8 名

研修生 3 名

本間 紗世（非常勤講師）

[Zero Body]

振付・演出：島崎 徹

音楽：Zoë Keating

出演：3 年生 7 名

研修生 2 名

[空の壁]

振付・演出：島崎 徹

音楽：Adrián Berenguer、Max Richter

出演：4 年生 6 名

ゲストダンサー：6 名

（音楽学部長 松本 薫平）

[卒業演奏会 2023年度卒業生]

2 月26日(月)、27日(火)、28日(水)

エミリー・ホワイト・スミス記念講堂 18:00開演

出演：学生30名

[神戸女学院大学音楽学部音楽学科 舞踊専攻

第18回公演]

2 月29日(木) 19:00開演

3 月 1 日(金) 18:00開演

豊中市立文化芸術センター大ホール



舞踊公演「空の壁」より

学部報告（心理学部）

2023年度

新2年生対象精神保健福祉士養成課程希望者ガイダンス実施

テーマ：養成課程についての説明と受講希望者数の把握

講師：宮脇 英子（本学科専任講師）

日程：4月3日

場所：Zoom 開催

参加者：18名

New Student Day 開催

テーマ：新入生歓迎

講師：心理・行動科学科全教員及び教学職員

日程：4月7日

場所：学内（D館他）

参加者：新入生104名

第1回キャリア座談会（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：臨床心理学分野のキャリアに関する質疑

講師：本学科教員（臨床心理学）、教学職員

日程：5月19日

場所：S-3 教室

参加者：9名

第1回大阪府福祉専門職採用説明会開催

テーマ：2024年度大阪府公務員福祉・心理専門職採用説明会

講師：西本 進 氏（大阪府公務員福祉専門職）

日程：5月24日

場所：H-301教室

参加者：約120名

第2回キャリア座談会（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：臨床心理学分野のキャリアに関する質疑

講師：本学科教員（臨床心理学）、教学職員

日程：6月16日

場所：S-3 教室

参加者：8名

「臨床心理士指定大学院を探そう！」（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：臨床心理士養成課程を持つ近畿の大学院の特徴と違いを知る

講師：本学科教員（臨床心理学）、教学職員

日程：7月18日

場所：S-3 教室

参加者：7名

アッセンブリーアワー学科別集会

テーマ：精神保健福祉士の学び

講師：宮脇 英子（本学科専任講師）

日程：7月21日

場所：理学館

参加者：40名

心理学部開設記念イベント「心理学部紹介」

テーマ：心理学部の魅力、推しを高校生に伝える

講師：石谷 真一（心理学部長）

日程：7月30日

（オープンキャンパス同時開催）

場所：LA I -21教室

参加者：約100名

心理学部開設記念イベント

テーマ：「在学生と卒業生が語る心理学部の魅力
～学びをキャリアに生かす」

講師及びプレゼンター：石谷 真一（上同）、

在学生3名、卒業生3名、教学職員2名

日程：8月11日

（オープンキャンパス同時開催）

場所：LA I -21教室

参加者：約100名

精神保健福祉士勉強会（精神保健福祉実習室主催）

テーマ：障害年金等

講師：社会保険労務士

日程：9月9日

場所：学内

参加者：養成課程生及び卒業生（有資格者） 約20名

「第1回 先輩に聞いてみよう！」（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：公認心理師・精神保健福祉士を目指す先輩学生から話を聞く

講師：本学科教員（臨床心理学・精神保健福祉）、教学職員

日程：10月10日

場所：S-3 教室

参加者：13名

第2回大阪府福祉専門職採用説明会開催

テーマ：2024年度大阪府公務員福祉・心理専門職採用説明会（2～3年生向け）
講師：西本 進 氏、松井 香織 氏
（大阪府公務員福祉専門職、松井氏は本学出身）
日程：10月26日
場所：H-301教室
参加者：約120名

メンタルヘルス・マネジメント[®]検定 オリエンテーション

テーマ：検定の狙い、試験の概要、関連書籍の紹介など
講師：教学職員
日程：11月7日
場所：S-3 教室
参加者：31名

神戸家庭裁判所調査官特別公開授業 開催

テーマ：家庭裁判所調査官の仕事
講師：神戸家庭裁判所調査官 2 名
日程：11月16日
場所：H-301教室
参加者：約100名

2024年度演習Ⅰ履修のための説明会

テーマ：ゼミ分属のための全体説明会
講師：本学科全教員
日程：11月17日
場所：LAⅡ-45教室
参加者：本学科2年生

公認心理師関連科目予備登録説明会

テーマ：心理アセスメント・支援法受講希望者への予備登録説明
講師：教学職員（臨床心理学分野）
日程：11月30日
場所：H-301教室
参加者：本学科2年生 約60名

「第2回 先輩に聞いてみよう！」（心理系キャリアサポートルーム主催）

テーマ：公認心理師を目指す大学院学生から話を聞く
講師：本学科教員（臨床心理学）、教学職員
日程：12月19日
場所：S-3 教室
参加者：5 名

卒業研究発表会

テーマ：卒業研究の口頭発表およびポスター発表
講師：本学科全教員
日程：1月31日
場所：LAⅠ-21教室及び理学館
参加者：本学科学生1～4年生

メンタルヘルス・マネジメント[®]検定 学内団体特別試験実施

試験監督者：本学教員（臨床心理学）、教学職員、大学院生
日程：2月20日
場所：理学館
参加（受験）者：17名

2024年度**New Student Day 開催**

テーマ：新入生歓迎
講師：心理・行動科学学科全教員及び教学職員
日程：4月10日
場所：学内（D館他）
参加者：新入生120名

心理学部新ホームページ完成

テーマ：新学部開設に伴う学部ホームページのリニューアル
作成者：学科教員及び学科職員
日時：5月9日より更新

（心理学部長 石谷 真一）

※2023年度の活動は人間科学部心理・行動科学科として記載



卒業研究発表会口頭発表の様子

学部報告（人間科学部）

2023年度

西宮市立甲東小学校校外学習自然観察会

担当教員：野嵜 玲児 教授

日 程：5月9日、7月11日、11月7日、2月13日

場 所：神戸女学院大学

参加者：延べ約480名

芦屋市保育園食教育

担当教員：高岡 素子 教授

日 程：6月1日、8日

場 所：芦屋市立精道こども園、芦屋市立緑保育所

参加者：延べ約100名

朝日親と子の自然環境教室

担当教員：高橋 大輔 教授

日 程：6月3日

場 所：神戸女学院大学

参加者：約80名

高校生対象サイエンス体験

担当教員：高橋 大輔 教授、塩見 尚史 教授

日 程：6月18日、7月30日

場 所：神戸女学院大学

参加者：計10名

芦屋市立岩園保育所での自然学習

担当教員：高橋 大輔 教授

日 程：6月20日、10月24日

場 所：芦屋市立岩園保育所

参加者：延べ40名

小学生対象マイクロスケール実験教室

担当教員：中川 徹夫 教授

日 程：7月13日

場 所：へいなんこども食堂

参加者：10名

日経 STEAM シンポジウム

担当教員：高岡 素子 教授

日 程：7月19日

場 所：大阪府立国際会議場

参加者：1000名以上

スーパーサイエンス高校での模擬実験と交流会

担当教員：高岡 素子 教授、中川 徹夫 教授

日 程：7月26日、3月7日

場 所：兵庫県立龍野高等学校、

兵庫県立神戸高等学校

参加者：計48名

SDGs 探究×サイエンスフォーラム

担当教員：横田 弘文 教授（主担当）、

張野 宏也 教授、三宅 志穂 教授、

西海 信 准教授、野嵜 玲児 教授、

佐藤 友亮 教授、高橋 大輔 教授、

高岡 素子 教授

日 程：8月3日及び3月24日

場 所：神戸女学院大学

参加高校数：計12校

西宮市いきものふれあいフェスタでの環境学習

担当教員：横田 弘文 教授

日 程：8月25日、26日

場 所：西宮市環境学習サポートセンター

参加者：約50名

兵庫県立西宮今津高等学校校外学習模擬授業

担当教員：中川 徹夫 教授

日 程：10月19日

場 所：神戸女学院大学

参加者：16名

西宮市立門戸幼稚園どんぐり拾い

担当教員：野嵜 玲児 教授

日 程：10月20日

場 所：神戸女学院大学

参加者：約30名

亀岡高校自然科学部との共同研究

担当教員：横田 弘文 教授

日 程：11月3日

場 所：神戸女学院大学

参加者：8名

マイクロスケール実験講座「マレイン酸とフマル

酸：共通点と相違点」

担当教員：中川 徹夫 教授

日 程：12月16日

場 所：神戸女学院大学

参加者：5名

一般向け生物多様性教育イベント「在来生物と外来生物のこと知ってるかな？ IFAR ハカセになろう！」

担当教員：三宅 志穂 教授

日 程：2024年1月2日

場 所：天王寺動物園

参加者：516名

(人間科学部長 高橋 大輔)



SDGs 探究×サイエンスフォーラムの様子

2023年度 神戸女学院大学図書館報告

1. 統計

• 蔵書数（冊）

	2023年度受入*	2023年度末現在
和書	1,775	272,231
洋書	185	173,745
合計	1,960	445,976
AV 資料	1点	4,175点

*教育資料費による購入図書41冊、寄贈図書59冊を含む

• 2023年度貸出状況（冊）

学 生	9,226
教職員	4,157
外来者	703

• 2023年度相互利用（件）

	文献複写	図書借用	閲覧	照会
依頼	501	87	7	4
受付	179	12	15	10

2. ガイダンス

合計39回開催

• 新入生対象

蔵書検索等基本的な図書館の利用案内

• 2年生対象

ゼミ決定前により、専門に近い資料収集方法の説明

• 3年生対象

卒論執筆に向けた資料収集方法の説明

• 音楽研究科対象

データベース RILM オンライン講習会

3. 神戸女学院創立150周年記念展示 I 開催

2023年5月23日より7月13日まで図書館本館にて、学院主催『神戸女学院創立150周年記念展示 I 第5代院長召天50周年「C.B. デフォレスト展—愛と美を求めて—」』を開催しました。展示では、女性の高等教育機関の確立を目指し日米双方からの理解と支援を得るため奮闘された先生の人生と教育を、貴重な写真や資料とともに辿り、学内・学外あわせて1,412名の方にご来場いただきました。神戸女学院創立150周年記念展示は、創立150年を迎える2025年まで、3年連続で開催予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

4. 活動報告

2023年度4月より図書館 Instagram を開始し、図書館ホームページ以外にも図書館広報の場を増やしました。また前期は図書館オリジナルクリアファイルプレゼント企画、前期・後期に立石浩一教授による折り紙イベントを実施し、好評を得ました。また新館での月替わりの展示に加え、音楽学部図書室では「2023年にアニバーサリーを迎える音楽家」を、本館では「創立150周年」展示以外に「久山葉子フェア」、「シェークスピアガーデンの植物画展」を開催しました。授業サポートとして、図書館職員によるブックトーク（3名が担当）を実施し、今後も教員との継続した連携を行いたいと考えています。

（図書館課長）

2024年度 大学・大学院入学試験結果概要

●大 学

学 部	学 科	入学定員	入学者数
国際学部	英語学科	100	67
	グローバル・スタディーズ学科	50	37
文学部	総合文化学科	200	188
音楽学部	音楽学科	40	56
心理学部	心理学科	96	123
人間科学部	環境・バイオサイエンス学科	80	63
合 計		566	534

●大学〔編入学（3年次）〕

学 部	学 科	入学定員	入学者数
音楽学部	音楽学科	1	0

●大学院（修士課程・博士前期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	13	2
	比較文化学専攻	5	2
人間科学研究科	人間科学専攻	10	10
音楽研究科	音楽芸術表現専攻	7	3
合 計		35	17

●大学院（博士後期課程）

研究科	専 攻	入学定員	入学者数
文学研究科	英文学専攻	2	0
	比較文化学専攻	2	0
人間科学研究科	人間科学専攻	2	1
合 計		6	1

2023年度 就職状況報告

学 科	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職率	進学者数	実就職率
				就職決定者／ 就職希望者		就職決定者／ (卒業者－院進学者)
英 文	144	134	133	99.3%	2	93.7%
総合文化	217	200	197	98.5%	5	92.9%
音 楽	35	23	23	100%	3	71.9%
心理・行動科	104	88	87	98.9%	11	93.5%
環境・バイオサイエンス	76	67	67	100%	9	100%
合 計	576	512	507	99.0%	30	92.9%

(2024年4月末日現在)

2024年度 在籍学生数
(2024年 5 月 1 日現在)

●大 学

学部・学科 学年		国 際 学 部			文 学 部			音楽学部	心理学部	人 間 科 学 部			合 計
		英語学科	グローバル・スタ ディーズ学科	小 計	英文学科	総合文 化学科	小 計	音楽学科	心理学科	心理・行 動科学科	環境・バイオ サイエンス学科	小 計	
1 年	24000	67	37	104		188	188	56	123		63	63	534
2 年	23000	0	0	0	55	162	217	53	0	103	51	154	424
3 年	22000	0	0	0	88	156	244	35	0	107	44	151	430
4 年	21000	0	0	0	91	172	263	42	0	87	74	161	466
	20000	0	0	0	18	15	33	4	0	10	3	13	50
	19000	0	0	0	3	5	8	2	0	2	2	4	14
	18000	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2	3
	17000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		67	37	104	255	699	954	192	123	311	237	548	1,921

●大学院 修士課程・博士前期課程

研究科・専攻 学年		文 学 研 究 科			人間科学研究科	音楽研究科	合 計
		英文学	比較文化学	小 計	人間科学	音楽芸術表現	
1 年	2400	2	2	4	10	3	17
2 年	2300	6	0	6	13	7	26
	2200	2	3	5	1	1	7
	2100	0	1	1	1	0	2
	2000	0	0	0	0	0	0
	1900	0	0	0	0	0	0
合 計		10	6	16	25	11	52

●大学院 博士後期課程

研究科・専攻 学年		文 学 研 究 科			人間科学研究科	合 計
		英文学	比較文化学	小 計	人間科学	
1 年	2400	0	0	0	1	1
2 年	2300	0	0	0	0	0
3 年	2200	0	1	1	0	1
	2100	0	1	1	0	1
	2000	0	0	0	0	0
	1900	0	1	1	0	1
合 計		0	3	3	1	4

●科目等履修生

学 部	8
大学院	0

●聴講生

学 部	5
大学院	6

2023年度 留学・海外研修、 2024年度 前期受入れ留学生報告

○2023年度留学・海外研修

留学/研修名	行先（国）	人数
派遣留学	ロックフォード大学（アメリカ）	2
	ワイオミング大学（アメリカ）	1
	ボーリンググリーン大学（アメリカ）	1
	アサンブション大学（フィリピン）	1
	タイキリスト教大学（タイ）	1
	文藻外語大学（台湾）	1
	淑明女子大学（韓国）	1
認定留学	モーツアルテウム音楽大学 （オーストリア）	3
中期海外研修	カリフォルニア大学アーバイン校 （アメリカ）	1
語学研修	ヨーク大学（カナダ）	9
	西オーストラリア大学 （オーストラリア）	15
	ケンブリッジ大学（イギリス）	12
	昭和ボストン・インスティテュート （アメリカ）	7
	梨花女子大学（韓国）	7
	カリフォルニア大学アーバイン校 （アメリカ）	1
	グリフィス大学（オーストラリア）	9

○2024年度前期受入れ留学生

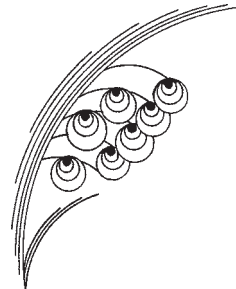
大学名（国）	人数	備考
広東外語外貿大学（中国）	1	2023年度後期から継続
揚州大学（中国）	2	2023年度後期から継続
文藻外語大学（台湾）	2	2023年度後期から継続
ワイオミング大学（アメリカ）	1	
梨花女子大学（韓国）	1	
徳成女子大学（韓国）	2	
淑明女子大学（韓国）	2	
ミリアム大学（フィリピン）	2	
アサンブション大学 （フィリピン）	2	
日越大学（ベトナム）	3	
広東外語外貿大学（中国）	1	大学院

（国際交流センター）

2023年度 夏期インターンシップ実施報告

No.	派遣先	日程
1	一般社団法人関西環境管理技術センター （1名）	8月21日 ～8月25日
2	株式会社河合楽器製作所（1名）	8月24日 ～9月1日
3	株式会社河合楽器製作所（1名）	8月29日 ～9月5日
4	株式会社河合楽器製作所（1名）	9月5日 ～9月17日
5	株式会社 JAL スカイ大阪（3名）	8月26日 ～8月27日
6	野村證券株式会社（3名）	8月22日 ～8月23日
7	西宮市（2名）	8月21日 ～8月25日
8	舞鶴市役所（1名）	8月23日 ～8月24日
9	女子学生霞が関体験プログラム（1名）	9月4日 ～9月8日

（キャリアセンター）



2023年度 クローバー賞表彰式

日程：10月27日(金)

※大学祭オープニングセレモニーに引き続き

場所：中庭

大学クローバー賞について：

神戸女学院大学に在籍する学生の課外活動を奨励することを目的とし、顕著な活動や成績を収めた本学自治会登録団体、又はその団体に所属する個人に対し、その栄誉を称えて贈られる賞

選考について：

9月21日開催の連絡協議会にて、「課外活動報告書」に基づき、連絡協議会委員と大学自治会委員の投票により決定

受賞団体：以下6団体（順不同）

- ・チアリーディング部 VENUS
- ・観世流能楽部
- ・裏千家茶道部
- ・スカッシュラケット部
- ・I.S.A.
- ・学生 YMCA

（学生生活支援センター）

2023年度 めぐみ会賞表彰式

めぐみ会では、大学生及び中高部生徒の自主的な活動を支援するため、神戸女学院の立学の精神を重んじた課外活動を行っている団体を対象とした「めぐみ会賞」を設け、毎年受賞団体に表彰状と副賞を授与しています。

大学表彰式：2023年10月27日(金)

岡田山祭オープニングセレモニーにて

- ・受賞団体「学生 YMCA」「I.S.A.」

中高部表彰式：2024年1月22日(月)

- ・受賞団体「有志地学研究会」「春の子ども会」

各団体とも、積極的な活動が評価されました。

今年度も「めぐみ会賞」に、クラブ、同好会等からの多くのご応募をお待ちしております。

（公益社団法人神戸女学院めぐみ会

会長 黒谷 理恵子）

2023年度 研究所活動報告

◇講演会

グローバルゼーションと〈小さくなる〉世界

～私たちが生きる世界のすがた～

関西学院大学社会学部准教授 鈴木 謙介 氏

(2023年10月20日開催)

◇助成・補助

◆出版助成 3件

1. 『地球時代』を拓く ―国際教育―

総合文化学科 古岡 俊之 特任教授

2. 『迷宮』(CD)

音楽学科 辻井 淳 准教授

3. 『Twinkle, Twinkle, Little Star

～イギリス童謡集～』(CD)

音楽学科 なかにし あかね 教授

◆体育・芸術活動助成 1件

アンダルシアの風と遥かなる大地の恵み

～佐々由佳里 室内楽シリーズ Vol.10～

音楽学科 佐々 由佳里 教授

◆研究助成 6件

1. Multiethnic Comparative Poetics

英文学科 古村 敏明 教授

2. A sociolinguistic survey of peripheral culture in the Tohoku region with emphasis on festivals and artifacts

英文学科 Goran VAAGE 准教授

3. やさしい日本語が切り拓く地域連携のあり方

総合文化学科 建石 始 教授

4. An In-depth study of Baroque performance practice in the flute works of G.P Telemann and C.P.E Bach

音楽学科 Xavier LUCK 准教授

5. 赤血球分化におけるクロマチン制御分子 SATB1 の機能解析

環境・バイオサイエンス学科 佐藤 友亮 教授

6. 生体内代謝物の網羅的分析のためのメタボローム解析システムの構築

環境・バイオサイエンス学科 西海 信 准教授

◆総合研究助成 3件

1. 松山高吉研究

―神戸女学院所蔵聖書翻訳資料を中心に―

総合文化学科 藏中 さやか 教授

英文学科 白井 由美子 教授

総合文化学科 大澤 香 准教授

2. 音楽と社会を繋ぐ教育プログラム開発

～応用音楽領域の学際的研究

音楽学科 松浦 修 准教授

音楽学科 なかにし あかね 教授

音楽学科 稲本 渡 准教授

3. 心理専門職養成における臨床実践の主体性を育む教育プログラムの開発

―大学院学外実習でのワークディスカッションの応用実践―

心理・行動科学科 若佐 美奈子 准教授

心理・行動科学科 西嶋 雅樹 准教授

心理・行動科学科 宮脇 英子 専任講師

◆地域貢献・活性化のための補助 1件

1. 安全で安価な実験教材の開発・改良と地域の児童・生徒に対する授業実践

環境・バイオサイエンス学科 中川 徹夫 教授

◆専門研究会補助 1件

1. イメージ論としての制作論「写真映像の薄い皮膜、そして一私の作品制作への道」

美術家 長谷川 哲 氏

◆専門部会研究発表会補助 5件

1. (前期) 総合文化学科

偶像禁止の物語と近現代芸術

―表現における「否定」の契機をめぐって

三木 順子 教授

2. (前期) 英文学科

Bearing Witness: Things I Saw and Learned during the 2021-22 Sabbatical

古村 敏明 教授

3. (後期) 音楽学科

《ご報告》パチカンに作品献呈して参りました。
なかにし あかね 教授

4. (後期) 共通英語教育研究センター

Extending interactive speaking practice outside
the classroom

Kurtis McDONALD 教授

5. (後期) 総合文化学科

なぜ紀伊半島には原発がないのか
—熊野灘漁民の連帯と知恵に学ぶ—
景山 佳代子 教授

◆国際学会出張補助 4 件

1. 英文学科

Pacific Ancient and Modern Language
Association, 120th Annual Conference
古村 敏明 教授

2. 英文学科

PacSLRF 2023 (International Conference on
Second Language Acquisition)
松尾 歩 教授

3. 英文学科

Documenting Languages, Documenting
Cultures —Migration, Minorities, Dialects
Goran VAAGE 准教授

4. 総合文化学科

Colloque International: Michel Henry, vingt ans
après. Actualité de la recherche.
川瀬 雅也 教授



◇発行物

『論集』第70巻第1号(通巻第190号) 2023年6月発行
『論集』第70巻第2号(通巻第191号) 2023年12月発行

※2023年度時点の所属等にて記載

(研究所)

2023年度 女性学インスティテュート活動報告

◇女性学インスティテュート定例研究会

2023年 5月20日開催

テーマ：異性装研究の現在

「日本中世の芸能と異性装～中世後期を中心に」

立命館大学文学部 辻 浩和 教授

「サバイバルのための異性装

—装われる〈性〉のゆくえ」

国際日本文化研究センター機関研究員

総合文化学科 田村 美由紀 非常勤講師

◇女性学インスティテュート主催特別講演会

2023年 6月16日開催

「ジェンダーを着る」

性社会文化史研究者 三橋 順子 氏

講演後、三橋氏との座談会実施

◇映画上映&監督トーク

2023年11月25日開催

(尼崎市女性センター・テレビエ)

『スープとイデオロギー』

ヤン ヨンヒ 監督

◇合同研究会

2024年 3月 7日 (オンライン開催)

共催：奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター

「犯罪小説の中のガヴァネス」

奈良女子大学研究院人文科学系 中川 千帆 准教授

「動物から学ぶ性のこと

～メスはどんなオスをパートナーに選ぶのか?～」

環境・バイオサイエンス学科 高橋 大輔 教授

◇助成・補助

◆研究助成 2件

1. 「ドキュメンタリー映像によるジェンダー教育の可能性 (2) —ヤン ヨンヒ監督作品を事例に」

研究代表者：英文学科 南出 和余 准教授

研究分担者：英文学科 瀬戸 智子 准教授

2. 「ファッションの多様化に与える社会的・文化的影響の検討」

研究代表者：心理・行動科学科 矢野 円郁 教授

研究分担者：英文学科 南出 和余 准教授

環境・バイオサイエンス学科 高岡 素子 教授

◇学生懸賞論文 (第25回女性学インスティテュート賞)

・応募総数 1編

・最優秀賞 該当なし

・優秀賞 1編

〈優秀賞〉

胡桃澤 佑衣 氏 (2023年 3月英文学科卒業)

“Hardships of Homosexual People in Japan”

(英語論文)

「日本における、同性愛者が抱える生きづらさ」

◇授業

Cu130ab 「女性学 (I)」 a、b

Cu131ab 「女性学 (II)」 a、b

Cu236ab 「ジェンダー学」 a、b

Cu237(1) 「ジェンダー学持論」

◇女性学インスティテュート学生サポーター「ミルラ」

サポーター学生12名 (2024年 3月)

芦屋市と共同でデート DV 防止啓発パンフレットの作成等実施

◇学内生理用品設置活動

ひょうご女性用品配布支援事業申請・承認

◇女性学インスティテュートインスタグラム

イベント、活動等を継続発信

https://www.instagram.com/kc_joseigaku_inst/

◇国際女性デー

2024年 3月 8日国際女性デーに大学ホームページ、女性学インスティテュートインスタグラムからメッセージ発信

◇発行物

『女性学評論』第38号 (2024年 3月発行)

※2023年度時点の所属等にて記載

※2024年度より女性学インスティテュートはジェンダーインスティテュートに名称変更いたしました

(ジェンダーインスティテュート)

中高部報告

第16回日本地学オリンピック 報告

高等学部 2年生(現3年生)

私は3月10日から12日につくば市で開催された第16回日本地学オリンピック本選に参加しました。

試験は2日目に行われました。試験は筆記試験と鑑定試験がありました。昨年は鑑定試験の成績が悪かったため、今年は岩石や鉱物、化石を調べたり実物を見たりして対策をし、一番点数がのびた分野になりました。

試験のほかに、最先端の研究をされている方のお話を伺ったり、研究機関を見学したりする機会も提供されていました。興味のある内容ばかりで、とても良い経験になりました。

最も印象に残っているのは、ほかの参加者やOB OGの方とたくさんお話ししたことです。特に神戸女学院の先輩には、大学生活や女学院生時代の思い出に関して聞かせていただいたり、悩みを聞いていただいたりしました。地学オリンピックに参加したからこそ得られた縁だと感じました。

試験の結果は金賞でした。金賞受賞者対象に最終日の午後に開催された代表選抜にも参加しました。選抜試験の内容は英語でのグループディスカッションと面接でした。国際大会の代表にはなれませんが、エンパワや英語の授業でのディスカッションで培った経験により、緊張することなく最大限の力を出せたと思います。

私は昨年本選に出場したものの賞を取ることができなかったため、リベンジを果たせたことがとても嬉しかったです。しかし、それ以上に地学オリンピック本選の2泊3日をとおしてたくさんの人と話せたことが嬉しく、一生の思い出になりました。

中学生の「税についての作文」

高等学部 1年生

中学3年生の夏休みの宿題として、「税についての作文」を書くことになり、初めて税について自分で深く考えました。以前の私は、「税」とは自分にとって身近なようで遠い存在だと思っており、自ら関心を持つことはなく、また、世の中では「税」に対しマイナスな意見が多いことから、マイナスな印象ばかりを持っていました。そこで、「税についての作文」を書くことになった私は、当時話題となっていた「ふるさと納税制度」について文書を書くことにしました。

ふるさと納税制度について曖昧な知識しか持っていなかった私は、まず、ふるさと納税制度について深く調べることから始めました。知れば知るほど、ふるさと納税制度の、寄附する側にとっても寄附される側にとってもメリットがある仕組みに興味を持ちました。ただ、そんな魅力的なふるさと納税制度にも問題点があることを知り、原因を調べたり、改善方法を調べたりしていくうちに、私のような「税」に対し、無関心で、自分から何も知ろうとしない人たちの存在が「税」をマイナスな印象ばかり抱きやすいものにしていく原因の一つなのだと改めて気がつきました。様々なことをたくさん学ぶことができる今だからこそ、将来、日本の社会を担っていかなければいけないという自覚と責任感を持ち始めるべきなのだなということを実感しました。

未成年の私たちが直接「税」と関わる機会も深く考える機会も少ない中で、「税についての作文」を書いてみて、まだまだ未熟なりに学び、考えを述べることができたこの機会に感謝しています。これからも、このような機会に触れていきたいと思います。

**第77回全日本学生音楽コンクール大阪大会フルート部門
中学生の部 第3位**

高等学部 1年生

私がこの賞をいただいたのは中学3年生の冬の時でした。中学1年生からずっとこのコンクールは受け続けており一番最初は予選落ち、2年生の時は本選まで行ったものの全国大会には行けず、ようやく初めて第3位を受賞し全国大会に出場することができてとても嬉しかったことを覚えています。

この時の課題曲はモーツァルトで一度も吹いたことがなかったためかなり自分の音色を変えるのに苦労しました。しかし初めてのモーツァルトでも第3位を受賞することができたのでやはり努力は実を結ぶのだと思います。しかし私がここまでコンクールに出てありがたいことに賞をいただくことができているのは自分の努力だけではなく両親の協力や師事している先生方のおかげでもあるので感謝を忘れずにいこうと思います。

吹いている最中は本当に緊張で震えが止まらずかなり酷い様子だったと思いますがそれでもコンクールなのに温かく見守ってくださる方がいて、緊張しながらも安心して吹くことができました。音楽とは人を楽しませ自分も楽しむためにあるものだと思うので楽しそうに聞いてくださる方がいると心の底から今まで沢山練習してきた良かったなと思います。

私は精神が未熟なため自分自身の音楽と向き合わなければならない練習はあまり好きではありません。それでも毎日練習を続けられるのは人の前で吹くという楽しみがあるから、人を楽しませたいという思いがあるからです。これからもフルートは続けていくことになると思うので精一杯音楽を楽しんでいこうと思います。

**第10回全国私立中学校テニス選手権大会
全国大会出場**

全国私立中学校テニス選手権大会全国大会は団体戦の試合です。6月の兵庫県大会、10月の近畿大会を経て2023年12月末に中学2年生6名、中学1年生1名の7名で参加しました。この大会は地元である神戸総合運動公園で行われるため、遠征して行くという感じではありませんでしたが、当日の試合会場には全国各地から参加してきている強豪校の集まりという、県大会とは違う緊張感が満ちていました。

正顧問が冬山スキー引率で不在だったため、副顧問がピンチヒッターで監督になったのですが、生徒たちはそんなことは物ともせず、日ごろの練習の成果を十二分に発揮してくれました。

やはり力のある選手が揃った強豪校を相手に厳しい試合が多かったですが、それでも全力で戦い、惜しい試合もあり、敗戦後に悔し涙を流す生徒たちには、簡単に勝負を諦めない頼もしさを感じました。2日目は敗者復活戦に回りましたが、1勝することができ、そのことは大きな成果と自信になりました。神戸女学院中学部テニス部のモットーは「自分を信じ、仲間を信じ、感謝を忘れずに楽しんで頑張ります」です。それを選手たちがよく実践してくれたので、最後は笑顔で終わることができたのだと思います。

また、今回も試合に駆けつけてくれた他の部員のみなさんと保護者の方々からは多くの応援と支援をいただきました。出場している選手たちの大きな支えと力になっていました。ありがとうございました。最後になりましたが生徒たちの日々の学校生活、練習を支えてくださっているすべての方々に心より感謝いたします。

これからも、テニス部の活動を通して生徒の成長を見られることが楽しみです。

(テニス部副顧問)

Inochi KANSAI Forum 2023 最優秀賞を受賞して

高等学部 1 年生

私たちは2023年度 inochi Gakusei Innovators' Program に参加しました。このプログラムは、まずテーマの病気から具体的な課題を見つけ、それに対する解決策を考えて社会実装を目指す、というものです。今年のテーマは「睡眠時無呼吸症候群」で、それについて大学生とともに半年間活動しました。活動中は定期的に会合があり、社会で役立つ多くのスキルを学ぶことができました。課題と解決策を考えていく中で、行き詰まった時に一緒に打開策を考えてくれた大学生の存在は大きかったです。チーム内で意見が分かれた時に、妥協しなければならなかったり、自分はチームに必要なのかと悩むこともありました。しかし、何度も会議を重ねるうちに、チーム内で確かな絆が生まれ、各々の長所を生かしてプログラムを進めることができました。

プログラムの最終地点として、自分たちの考えた解決策をプレゼンするフォーラムが開催され、参加者はそこで半年間の成果を発表します。いよいよ迎えた本番、ハプニングはありましたが最優秀賞をいただくことができました。チームの名前が呼ばれた時は、今までの努力が報われたという達成感と、極度の緊張が和らぎ、思わず涙がこぼれました。4人で多くの時間を捧げて、何度も考え直して必死に完成させたものが評価され、本当に嬉しかったです。フォーラム後は、協力していただけた会社の方と社会実装を進めています。

難しい問題にぶつかって挫折しそうな時もありましたが、このプログラムを通して、自分たちで決めた目標を最後までやり遂げられたことはとても貴重で大切な経験となりました。この活動に興味を持った方がどんどん挑戦してくれることを望んでいます。

挑戦することの大切さ

高等学部 1 年生

今回、ありがたく高円宮杯全日本中学校英語弁論大会というすばらしい大会に出場させていただき、とても実りある経験をさせていただきました。

私はスピーチ大会に参加するのは初めてでした。英語でのスピーチはただ英語を話すだけではなく、より自分の主張を分かりやすく伝えるための表現力の点で想像以上に難しく、人前で話すのが苦手な自分には無理だと何度も思いました。それでも先生方が根気強く練習に付き合ってくださいのおかげで、県大会ではステージで話すことを楽しいと感じ、優勝することができました。

しかし、決勝予選で東京に行って、私が見た景色は全く違うものでした。発音の良さはあって当たり前、全くレベルの違う世界でした。決勝に進めなかったのも残念でしたが、もっとショックだったのは、県大会の3位入賞者が決勝へ進んだことでした。県大会からの努力の差を突きつけられた気がして、支えてくれた人たちに申し訳なく情けなく感じました。やっぱりやらなければ良かったと後悔し、しばらくひきずってしまいました。

今は挑戦してよかったと思っています。自分の中で成長したことがたくさんあり、最後までやり切った経験は自信につながっています。それだけでなく、自分のスピーチには改善点が多くあり、もっと自分の英語を上達させたいと思い、新しい課題を見つけられました。挑戦することは大きな成功として実を結ばなくても、経験値として生きて次につながるのだと学び、新しいことへの挑戦にも以前より積極的になれたと感じています。こんなに大切なことにも、参加していなければ気づけなかったはずです。支えてくださった先生方には感謝しかありません。ありがとうございました。これからも失敗を恐れずに様々な挑戦をしていきたいです。

第24回大阪国際音楽コンクール ユース部門自由曲ジュニアコース第1位

中学部 2年生

大阪国際音楽コンクールは夏に色々受けるコンクールのうちの一つです。誰に強制されたわけでもなく、むしろ母には「え～また行くの？コンクール、好きだねえ」と言われながら、脳みそが溶けそうな暑さのなか、汗だくで大阪のホールに向かいます。

実をいうと、このコンクールとは相性がよくありません。会場は良いホールですが、まさかの楽譜を一部とばして弾いてしまったり、うまく弾けた氣でいても何の賞ももらえなかったり（その年は私の出場年齢枠は受賞者ゼロという珍しい事態でした）、とにかく毎年私にとって問題が起こるコンクールです。

そんなこともあり、今年はエントリー section を変え良くないイメージを吹き飛ばして、心機一転、気持ちよく弾いてみようと思っていたところ、今年もやっぱり問題が起こりました。伴奏の先生がスケジュールを間違えていた(?)とかで都合がつかないとなって、本番1週間前に伴奏者変更となりました。伴奏者の変更は私にとっては大問題です。今までの積み重ねがあってあうんの呼吸になるわけです。私のつくるちょっとしたリズムの揺れにもあわせてもらえるという、伴奏への絶対的な信頼感がないと私らしく弾けません。さすがに出場辞退しようかと考えていたら、母が言いました。「〇〇先生（新しい伴奏者）はちゃんとあなたを見てくださっているし大丈夫。信じて弾いてみたら？」

たった一度の合わせレッスンで本番のステージに乗りました。結果、1位をいただきました。

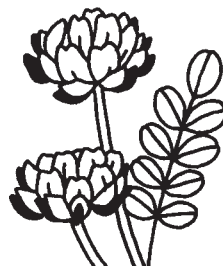
大阪国際とは相性が良くないというイメージは残しつつ、よい経験でした。これからも受けるかどうか…は思案中ですが、私のことだから懲りずにまたエントリーするのだらうと思います。母の「え～また行くの？」という声が聞こえてきそうです。

2024年度 中学部入学試験結果報告

日程：2024年1月13日(土)・15日(月)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
135	229	227	155	144

(中高部事務室)



2024年度 春の遠足

日 程：4月19日(金)

J1

場 所：神戸市立外国人墓地、再度公園

概 要：阪急花隈駅～神戸教会～諏訪山公園～神戸
市立外国人墓地～再度公園～新神戸駅

参加者：137人

引率教員：8人

J2

場 所：神戸市立外国人墓地、再度公園

概 要：阪急花隈駅～神戸教会～諏訪山公園～神戸
市立外国人墓地～再度公園～新神戸駅

参加者：139人

引率教員：7人

J3

場 所：兵庫県立甲山森林公園

概 要：学校～兵庫県立甲山森林公園～学校

参加者：124人

引率教員：7人

S1

場 所：六甲アスレチックパーク Greenia

概 要：六甲ケーブル下駅～六甲山上駅～六甲アス
レチックパーク Greenia～六甲ケーブル山
上駅～六甲ケーブル下駅

参加者：140人

引率教員：7人

S2

場 所：神戸市立森林植物園

概 要：神戸市営地下鉄谷上駅西側の河原～神戸市
立森林植物園～神戸電鉄北鈴蘭台駅

参加者：120人

引率教員：6人

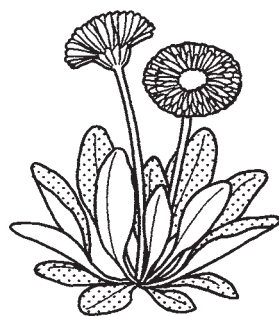
S3

場 所：神戸布引ハーブ園

概 要：布引ハーブ園ロープウェイ山麓駅～山頂駅

参 加：131人

引率教員：6人



(中高部教諭)

2024年度 J1 デイキャンプ報告

2024年度キャンプ長

4月1日(月)、2日(火)の2日間、J1 デイキャンプが開催されました。

新型コロナウイルスによる制限が完全に無くなって初めての開催となりました。

この行事のために、新J3以上の上級生が約半年間、新J1の笑顔を見るために準備をし、当日はカウンセラーとして、新J1が8人程の班に2人ずつついて、一緒にプログラムに参加します。カウンセラーはその後の学校生活でも新J1をサポートする、大切な存在です。

J1 デイキャンプでは、電車での通学や、新しく出会う神戸女学院生、礼拝や授業に至るまで全てが初めてで不安を抱えている新J1の緊張を和らげ、少しでも学校生活に慣れて、良いスタートを切ることができるように、様々なプログラムを行います。

真っ白な正方形のダンボールに学年カラーである赤色の絵の具で絵を描き、ジグソーパズルを作るプログラムでは、一人一人にピースが与えられ、6年間の抱負を書きます。ジグソーパズルには、誰1人欠けてはいけない大切な存在であるという意味がこめられています。

また、新J1だけで行動するプログラムであるオリエンテーションでは、自分たちで教室を巡り、班のメンバーとたくさんのゲームを行い、絆を深めます。

神戸女学院で大切にされている礼拝に慣れてもらい、また自分と向き合うための時間を持つためのメディテーションでは、この2日間の中で唯一静かな時が流れ、自分の人生や、自分を支えてくれる人について考える時をもちました。

今年度は、テレビ取材も入り、イレギュラーなことも多い年となりましたが、新J1の笑顔と、「楽しかったです!」という声や、「私もカウンセラーになりたいです!」という声を聞いて、本当にこの行事を作り上げることができて幸せだと感じました。

伝統あるこの行事が、これからもたくさんの人の笑顔と共に続いていくことを願っています。

2024年度 春の子ども会

日 程：4月27日(土)

場 所：神戸女学院

参加者：65名

引率教員：1名

(高等学部自治会顧問)



2024年度 中高部体育祭報告

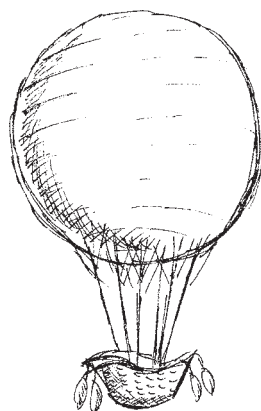
6月4日に中高部体育祭が開催されました。中高部の体育祭は1988年以降、6学年縦割りの6組対抗で行われています。およそ1年前から体育祭企画実行委員会の生徒たちをはじめ、体育部や縦割り6組のそれぞれのS3を中心とする組幹部の生徒たちが話し合いと準備を進めてきました。

今年の体育祭はコロナ以降、途絶えていた「棒上帽子争奪戦」が復活しました。S3生徒にとってはJ1の時に見ていただけの競技で、初めてやるのも同然の競技でしたが、過去の組の先輩方から引き継がれた資料や自分たちで試行錯誤するなどし、本番では迫力ある戦いが繰り広げられました。学年対抗パフォーマンスでは学年ごとのカラーが存分に発揮された演技となりました。午後の最初の競技はJ1J2種目の「一期一会」。初めて体育祭を経験するJ1生徒をJ2の先輩が声をかけながら一生懸命、競技に取り組んでいた姿が印象的でした。体育祭を締めくくる、騎馬戦。組と組同士の意地のぶつかり合い。勝っても涙。負けても涙。爽やかな空の下、様々なドラマが生まれた2024年の体育祭となりました。

優勝 威組

学年対抗パフォーマンス優勝 S3

(体育祭企画実行委員会顧問)



2023年度 中高部教職員研修会 報告

夏休み終盤の8月25日(金)に2023年度中高部教職員研修会が行われました。参加者全員が8時50分にコム・ホールに集合し、開会礼拝、中高部長による開会挨拶から研修会が始まりました。

〔午前プログラム〕

1. 夏休み中の行事報告

リーダーシップトレーニングキャンプ、エンパワメントプログラム、夏山登山、リベラルアーツプログラム長島・広島・白浜、アメリカアカデミックスタディーツアーについて、それぞれの担当教員から報告がありました。

2. 全体会

「神戸女学院中高部はどんな学校ですか?」というテーマのもとで、神戸女学院中高部が担う教育の意義を教職員で共有し、学校・教員・生徒たちの取り組みを積極的に評価する言葉をもつこと、また、その言葉を対外的(受験生、その保護者など)に語るための言葉とすることを目的として話し合いを行いました。

まずは、森谷中高部長に、外部の学校説明会等で語っておられる内容についてお話をいただき、新入生が入学前に神戸女学院中高部がどのような学校だと聞いて入学してこられているのかを共有する時間をもちました。

3. 分団討議

全体会ののち、教職員は8つの班に分かれて分団討議を行いました。テーマは「自由・自治、生徒主体について」「キリスト教教育について」「進路指導について」「学校生活について」「全人教育・リベラルアーツについて」など多岐に渡り、各々の教職員が日々感じていること、考えていることを共有する有意義な時間となりました。

〔午後プログラム〕

午後は教員と職員が分かれて研修を行いました。

教員対象研修会

教務関連の課題である「観点別評価」「教科シラバス」「一人一台タブレット(PC)」の3つのテーマに

ついて、中高部としての方向性を確認し、情報を共有する時間をもちました。

まずは教務課長より、観点別評価について、文部科学省発行の資料に基づき、他校での導入実態等の話も交えながら、全体的な解説をしていただきました。その後、教科ごとに分かれて、観点別評価について、教科として長期的にどう考えるかについて分団討議を行いました。また、シラバスについては、形式をどの程度統一するか、内容をどこまで詳しく記載するかなどについて意見を出し合いました。一人一台PCについては、4月から導入してみでの振り返りと情報共有を行いました。

その後全体会にて、各教科で出た内容を報告する時間をもちました。

職員対象研修会

2024年度中学部入試からWeb出願を採用することとなったため、事務方としての具体的な手順の習得に、午後の分団討議の時間を有意義に使わせていただきました。グレイプシティからは2名来校いただき、現時点迄での疑問点等の確認、具体的なシステムの設定や操作のやり方の知識を深めることができました。本番に向けた教職員参加による事前テストランを実行予定とし、詳細にできる限りの問題点の洗い出し、プロセスに沿った操作が確実にできるよう方針を立てることができました。

今回の教職員研修会では、各テーマに関する全教職員の意見をあらかじめGoogleFormで集約しておいたおかげで、話し合いのテーマが多岐に渡っていたにもかかわらず、当日の話し合いが非常にスムーズに進んだように思います。また、分団討議の結果もスプレッドシートで共有し、それを各々のタブレットで開きながら報告を聞くことができましたので、各教科5分という短い時間での報告でしたが、有意義な報告会となりました。この教職員研修会において、教員においても、一人一台PCが有効に活用されているように改めて感じました。今後さらに使い方のバリエーションを増やし、有効活用できればと考えています。

(教職員研修会係)

2023年度 芸術鑑賞会

9月20日(水) 西宮市民会館(アミティ・ベイコムホール)でマスカーニ作曲オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」全一幕を鑑賞しました。公演の企画はNPO法人「イタリア人音楽家たちを招聘し、本物のイタリアオペラをあなたの学校で公演」。理事長の北宅憲太郎氏はイタリアのラ・スペツィア市で小・中学校への出張公演にも力を入れてこられ、今回はトゥリッドゥ役でご出演くださいました。オリジナル編成は5人の独唱者、合唱、オーケストラですが、今回はオーケストラパートが主に弦楽5重奏、電子ピアノ、エレクトーンで演奏されました。そして、全曲のうちの一部分ではありますが有志生徒44人が管弦楽、打楽器パート、合唱として出演しました。主人公のサントウツァ役として、中高部、大学音楽学部卒業生で神戸女学院大学音楽学部准教授の古田昌子先生にもご出演いただきました。演奏に加わった殆どの生徒にとってオーケストラでの演奏や、舞台上で演技をしながら歌うことは初体験でしたが北宅氏、イタリアから来日された指揮者のマッシミリアーノ・ピッチョーリ氏、弦楽5重奏の方々のきめ細かいご指導により、僅かな練習期間にもかかわらず起伏に富んだ表情豊かな演奏となりました。簡素ながらシチリアの田舎のたたずまいを感じさせる舞台装置、登場人物の心情やストーリーの流れを分かりやすく表現した演出など、オペラを初めて見る生徒にとっても分かりやすい上演でした。

(中高部音楽科教諭)

2023年度 S 校内大会

2023年度のS校内大会は、7月10日(月)に実施されました。種目は例年通り、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、卓球、リレーの5種目で、全学年クラス対抗戦です。どの種目も、下剋上を狙う下級生とそうはさせまいとする上級生との“仁義なき戦い”や、同級生同士の白熱した試合がとても印象に残っています。

天候にも恵まれ、昨年は行うことができなかった決勝リーグも行うことができ、例年にも勝るとも劣らない盛り上がりを見せていたと思います。制限がなくなり、各競技、自分のクラスの応援をしている姿も見受けられました。

総合

1位 S3B、S2B 3位 S3A

(S体育部顧問)

2023年度 J 校内大会

2023年度J校内大会が7月11日(火)に行われました。実施種目はドッジボール、卓球、リレーです。各種目フェアプレーの精神のもと熱戦が繰り広げられ勝敗にかかわらず皆が楽しんでいる姿が印象的な校内大会となりました。

(J校内大会係)

2023年度 中高部 夏休み中の行事**リーダーシップトレーニングキャンプ**

日 程：7月20日(木)～22日(土)

場 所：西宮市立山東自然の家

概 要：レクリエーション、カウンセラー・ファイアー、
野外炊飯等

参加者：49名

引率教員：5名

エンパワーメントプログラム

日 程：7月24日(月)～28日(金) 日帰り

場 所：校内 トリニティホール

概 要：外国人大学生とのディスカッションを通して問題発見能力、解決法を見付ける能力を
身に付け、世の中の課題について考える

参加者：50名

付き添い教員：6名

夏山登山

日 程：8月1日(火)～3日(木)

場 所：富山県立山

概 要：立山頂上の大汝(3015M)に全員登頂

参加者：37名

引率教員：6名

リベラルアーツプログラム・白浜

日 程：7月21日(金)、22日(土)

場 所：白浜バプテスト基督教会

概 要：学童保育プログラム「コペル君」の子ども
たちと交流、ディスカッション

参加者：40名

引率教員：3名

リベラルアーツプログラム・Youth For Mission

日 程：7月31日(月)

場 所：校内

概 要：神戸女学院大学教授 奥野紗矢子先生を助
言者として話し合いとワークショップ

参加者：17名

付き添い教員：2名

リベラルアーツプログラム・「長島愛生園を訪ねる」

日 程：8月3日(木)、4日(金)

場 所：岡山県 国立療養所「長島愛生園」

概 要：園長・山本典良氏の講演
歴史館、園内見学 話し合い

参加者：38名

引率教員：4名

アメリカアカデミックスタディツアー

日 程：7月16日(日)～8月6日(日)

場 所：アメリカ ミネソタ州

概 要：語学研修、ホームステイ

参加者：24名

引率者：教員前半のみ1名、全行程1名、
添乗員1名

(中高部教諭)



2023年度 文化祭

2023年度の文化祭は「Parade」というテーマで行われました。例年通り講堂での文芸会、各クラスの展示、クラブの展示、コムホールでのイベント、野外ステージに加え、2023年度はGⅡ一階でのゲーム企画や、グラウンドでの企画も充実させ、外から来るお客様を楽しませつつ、校内生が楽しめる場も増やそうという考えで企画を練りました。

文化祭は通称「文企」と言われる毎年有志で組織される文化祭企画実行委員会が中心になって開催されます。文企は前年度文化祭が終わってすぐに組織され、新S3の幹部を中心に一年かけて企画を練り、文化祭を作っていきます。文化祭の仕事は多岐にわたりますが、下級生の頃から文企を経験している生徒はその部署のエキスパートになっており、上級生になって下級生を指導していく体制になっています。夏休みにも出てきて作業を行うなど忙しい委員会ですが、皆いきいきとやりがいをもって取り組んでいます。

2023年度は久々に岡田山ロッジでの合宿も再開されました。丸3日間学校に寝泊まりして朝から晩まで企画を考えたり当日の装飾品を作ったりしました。夜には学院の許可を得て花火をし、昼には皆で水遊びをし、真剣に仕事に向き合う時間と思いきり遊ぶ時間を切り替えながら十分に楽しんだ2泊3日でした。朝昼晩と学食で食事をして寝床も共にする生活は皆の結束を深め、先輩・後輩の絆も深まる有意義な合宿になりました。

文企を動かしていく中心メンバーは受験を控えたS3ですが、勉強との両立を図りながらも丁寧に行き届いた仕事ぶりを見せ、文化祭にかける並々ならぬ情熱を感じました。夏休みにはなるべく受験勉強に集中するために1学期に集中的に準備を行いました。1学期には体育祭もあり、そちらにも皆、火を噴くような情熱を傾けているため時間と体力と気力を総動員して仕事に当たっていました。そうした情熱はまた後輩達の心に火を灯していきました。文化祭では食品を扱う団体のために保健所に行って説明したり、パンフレットの作成を外注しているため印刷所と打ち合わせをしたりと、外部の大人と関わる場面もあります。そうした場には顧問だけでなく

生徒も共に参加し、自分の言葉で大人たちに説明し依頼するようにしていました。こうした経験も生徒たちの成長に寄与しているのではないかと思います。

2023年度は制限を設けないフルバージョンの文化祭で開催することとなりました。コロナバージョンの文化祭しか知らない下級生も多く、過去の資料に当たりながら、元に戻すもの、コロナ禍で試みてよかったので継続するもの、新たに加えたものなど、コロナ前に戻すのではなく、新しい時代にあった形を創出したいという生徒たちの強い意欲を感じました。パンフレットのレイアウトも大きく変えて見やすくし、入場の方法もチケット制をやめてみるなど新しい試みもしました。今年度は、久々の制限なしの文化祭ということで、かなりの来場者があるのではないかと想定し、入場に関しては入念なシミュレーションをして臨みました。加えて2023年度より始まった正門の耐震工事の影響で、これまでのように受付を正門近くに設置することができず、一から入場システムを考えることとなりました。外部からのお客さんと校内生の関係者とを分けて入場する方法、受付の場所、入構許可証の手配、受付係のシフトなどなど万全の態勢で臨みましたが、当日蓋を開けてみると予想を大きく上回る大盛況で、パンフレットの補充に走り回り、たくさんの先生方の応援も得て受付を回すこととなりました。約4000名の入場者を記録して大成功のうちに文化祭は終了しました。文化祭を開催するにあたり、警備員の方々、施設課を始めとする学院の事務職スタッフ、中高部の教職員の皆様、多くの方に手助けしていただき、この文化祭が、また神戸女学院の生徒たちが、学院全体から本当に大切にされていること、皆が応援していることを再確認した経験でした。

(2023年度文化祭企画実行委員会顧問)

2023年度 中高部 秋の行事

J1 遠足

日 程：10月6日(金)

コース：渦の道、大塚国際美術館

概 要：見学

参加者：144人

引率教員：8人

J2 遠足

日 程：10月6日(金)

コース：神戸教会、墓参、淡路島

概 要：タルカット先生の墓参、見学

参加者：136人

引率教員：7人

J3 小旅行

日 程：10月4日(水)～6日(金)

コース：福井、金沢、高山

概 要：福井県立恐竜博物館見学、
金沢・高山班別研修

参加者：144人

引率教員：7人

S1 一泊研修

日 程：10月5日(木)、6日(金)

コース：神鍋高原、城崎

概 要：有馬温泉見学、話し合い

参加者：133人

引率教員：5人

S2 修学旅行

日 程：10月2日(月)～6日(金)

コース：湯布院、天草、長崎、大宰府

概 要：見学、長崎班別研修、レクリエーション

参加者：138人

引率教員：7人

S3 遠足

日 程：10月6日(金)

コース：有馬温泉

概 要：自由散策、昼食

参加者：140人

引率教員：5人

2023年度 S2 修学旅行

2023年度の修学旅行は久しぶりにコロナ禍以前の形で行われ、10月2日(月)～6日(金)の4泊5日で九州を巡りました。初日は新大阪駅から新幹線で博多に移動し、湯布院を散策。その後長さ390m、高さ173mを誇る九重夢大吊橋を往復して肝を冷やし、瀬の本高原に着きました。ホテルでは夜に星空案内人によるレクチャーを受けた後、外に出て天体観測を満喫しました。2日目は高千穂峡に向かい、溶結凝灰岩の巨大柱状節理に驚かされた後、高千穂神社を参拝して「夜神楽」を鑑賞しました。その後アーチ構造が見事な通潤橋に寄って、天草に着きました。3日目は天草キリシタン館を見学した後、イルカウォッチングで癒されました。それからがまだすドームに行って雲仙普賢岳の噴火について学び、長崎に移動して原爆資料館を見学し、被爆体験講話を伺うという大変密度の濃い1日でした。4日目は長崎周辺の自主研修で、各々の立てたプランに従って過ごしました。夜にはみんなが楽しみにしていたレクで大いに盛り上がり、最後に全員で365日の紙飛行機を歌って、みんなで過ごせる今この時を噛みしめました。5日目は太宰府天満宮に行って来るべき時に備えてそれぞれ熱心に参拝した後、買い物の時間を経て博多駅に着き、新幹線で新大阪駅に戻って解散となりました。盛りだくさんな学習の機会がありましたが、今回は特に地学の分野で学ぶことが多く、とても興味深いコースでした。

(2023年度S2学年主任)

(中高部教諭)

2023年度 キャンパス見学会

日程：11月3日(金・祝) 参加者：357組855名

日程：11月4日(土) 参加者：271組629名

プログラム：校内自由散策、キャンパスツアー、
模擬授業、クラブ活動見学、
ワークショップ、礼拝体験など

2020年の新型コロナウイルス感染症の発生以降、
2020年はオンライン開催、2021年と2022年は見学範
囲や時間を制限した形での開催であった。2023年度
から、ほぼ以前の形に戻して実施することができ
た。小学校での行事が多い時期だが、2日間の実施
とすることで、ご都合に合わせて参加いただけた。

(2023年度校務課長)

2023年度 「秋の子ども会」報告

日 時：11月3日(金) 10:00～15:00

場 所：神戸女学院中高部葆光館・タルカット館・
グラウンド

参加者：神戸真生塾の小学生20名
神戸女学院高等学部生30名

内 容：

10:00 子どもたちと高校生が神戸女学院に集合

10:00～12:00 室内で工作などをして遊ぶ

12:00～12:40 昼食

* 高等学部自治会の生徒手作りのサンドウィッチ

12:40～13:40 グラウンドにて遊ぶ

13:40～15:00 おやつ・メッセージ交換

* おやつは高等学部自治会の生徒手作りのみかん
ゼリー

15:00 解散

(2023年度高等学部役員会顧問)

2023年度 リベラルアーツプログラム 釜ヶ崎訪問

日 程：11月25日(土)
場 所：釜ヶ崎いこい食堂、四角公園
参加者：高等学部生徒12名
引率教員：2名

(中高部チャブレン)

2023年度 中高部冬山スキー

日 程：12月23日～26日
場 所：志賀高原／ホテル山楽
概 要：インストラクターによるスキーの講習
参加者：生徒48名（留学生3名含む）
引率教諭6名

(中高部体育科教諭)

2023年度 マロニエ賞報告

マロニエ賞とは、兵庫県下の知事所轄の私立学校に在籍する園児・児童・生徒及び教職員等に対し、スポーツ、文化等の各分野で顕著な成績をあげた人や団体に対し、知事より表彰される賞です。

2023年度受賞式：12月22日（金） 兵庫県公館

- ・本校からは5名の生徒が受賞
- ・県全体では、12団体と38個人が受賞

高校3年

第12回ヨーロッパ女子数学オリンピック スロベニア大会 銅メダル受賞

高校2年

第39回成田山全国競書大会 駐日中国大使賞受賞

高校2年

日本言語学オリンピック2023 金賞受賞

高校2年

日本言語学オリンピック2023 金賞受賞

中学1年

2023 Radda Rise International String Competition
カテゴリーⅡグランプリ受賞

（中高部部長）

2023年度 卒業生シリーズ礼拝

2月19日 卒業生（139回）

2月20日 卒業生（139回）

2月21日 卒業生（133回）

2月22日 卒業生（138回）

（中高部チャプレン）

第58回中高部長賞 第39回文化・スポーツ賞

賞の名前：中高部長賞

概要

中高部長賞とは、中学部と高等学部に分けて、すべてのクラブの1年間の活動資料（クラブノートの内容や活動状況、またクラブ部長生徒や顧問教員による自己評価）に基づき、中高部教員で組織された選考委員会で選考されたクラブに授与する賞です。高等学部では昨年度より1学期の終業日に、中学部では2学期の終業日に授与しています。

Jクラブ：家庭科研究部、テニス部、新体操部、
バドミントン部
Sクラブ：軽音学部、プラスバンド部、テニス部、
バレーボール部

賞の名前：文化・スポーツ賞

概要

文化・スポーツ賞とは、前年度の1月末からの1年間を通し、中高部の代表として各大会等に参加し、西宮・阪神地区で1位、また兵庫県・関西・近畿・全国、世界で3位以内の賞を獲得した中から、中高部長や中高部教員で組織された選考委員会で選考された個人や団体に授与する賞です。

文化賞

- ・2023年ヨーロッパ女子数学オリンピック銅メダル
- ・第5回日本数学 A-lympiad 優良賞
- ・第39回成田山全国競書大会成田山賞、駐日中国大使賞
- ・第56回私学の書展特選呉竹賞、特選一休園賞
- ・第3回オンライン高校生模擬裁判選手権第3位
- ・高校生「文学模擬裁判」日本一決定戦優勝
- ・令和4年度神戸新聞社杯阪神 ESS ユニオンプレゼンテーションコンテスト優勝
- ・2023年日本言語学オリンピック金賞
- ・第5回 Change Maker Awards 西日本ブロック銅賞

- ・第3回夏のオンライン高校生文学模擬裁判交流大会優勝
- ・第4回オンライン高校生文学模擬裁判選手権第2位
- ・第26回兵庫県高校生英文エッセーコンテスト県大会優秀賞
- ・高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会兵庫県予選大会優勝
- ・第31回薫英杯女子中学生英語スピーチコンテスト優秀賞
- ・税についての作文国税庁長官賞、近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞、西宮宝塚租税教育推進協議会賞
- ・第25回お弁当コンテスト優秀賞
- ・税の書道西宮・宝塚租税教育推進協議会賞、西宮納税貯蓄組合連合会会長賞
- ・2023 RADDIA RISE INTERNATIONAL STRING COMPETITION Grand Prize of Category 2 〈10～13才〉
- ・第24回大阪国際音楽コンクール、ユース部門自由曲ジュニアコース第1位

スポーツ賞

- ・第6回兵庫県高校スプリングテニストーナメント準優勝、第3位
- ・第10回兵庫県中学校冬季テニス大会団体戦第2位
- ・第67回兵庫県中学校総合体育大会（テニス競技・団体戦）第2位
- ・兵庫県私立中学校テニス大会団体戦準優勝（2位）
- ・第76回西宮市民大会テニス大会（少女ダブルス）優勝
- ・第20回兵庫県中学校秋季テニス大会、学校対抗の部第3位

（2023年度中高部生徒課）

目 次

竹中藤右衛門氏のメッセージ……………	1	中高部報告	
新体制でのスタート……………	3	第16回日本地学オリンピック 報告……………	58
中高部は元気です……………	3	中学生の「税についての作文」……………	58
KCC だより……………	4	第77回全日本学生音楽コンクール大阪大会フルート部門	
創立150周年に向けて……………	6	中学生の部 第3位……………	59
神戸女学院創立150周年記念展示Ⅱ		第10回全国私立中学校テニス選手権大会 全国大会出場…	59
「神戸女学院のヴォーリズ建築		Inochi KANSAI Forum 2023 最優秀賞を受賞して…	60
—Beauty Becomes a College—」開催について…	7	挑戦することの大切さ……………	60
「ユニバーサルマナープログラム」での学生の活動報告…	7	第24回大阪国際音楽コンクール ユース部門	
仙台におけるデフォレスト先生召天50周年記念行事…	8	自由曲ジュニアコース第1位……………	61
2024年度 愛校バザー報告……………	9	2024年度 中学部入学試験結果報告……………	61
創立150周年記念募金……………	12	2024年度 春の遠足……………	64
2023年度 神戸女学院家庭会幹事会報告……………	12	2024年度 J1 デイキャンプ報告……………	65
チャプレン室報告……………	13	2024年度 春の子ども会……………	65
2024年度 年間標語……………	15	2024年度 中高部体育祭報告……………	66
大学報告		2023年度 中高部教職員研修会 報告……………	67
大学改革の取り組み……………	16	2023年度 芸術鑑賞会……………	68
学部報告……………	18	2023年度 S 校内大会……………	68
2023年度 神戸女学院大学図書館報告……………	30	2023年度 J 校内大会……………	68
2024年度 大学・大学院入学試験結果概要…	31	2023年度 中高部 夏休み中の行事……………	69
2023年度 就職状況報告……………	31	2023年度 文化祭……………	70
2024年度 在籍学生数……………	32	2023年度 中高部 秋の行事……………	71
2023年度 留学・海外研修、2024年度 前期受入れ留学生報告…	33	2023年度 S2 修学旅行……………	71
2023年度 夏期インターンシップ実施報告…	33	2023年度 キャンパス見学会……………	72
2023年度 クローバー賞表彰式……………	34	2023年度「秋の子ども会」報告……………	72
2023年度 めぐみ会賞表彰式……………	34	2023年度 リベラルアーツプログラム 釜ヶ崎訪問…	73
2023年度 研究所活動報告……………	55	2023年度 中高部冬山スキー……………	73
2023年度 女性学インスティテュート活動報告…	57	2023年度 マロニエ賞報告……………	74
		2023年度 卒業生シリーズ礼拝……………	74
		第58回中高部長賞、第39回文化・スポーツ賞…	75

下記ページは個人情報保護等のため掲載しておりません。ご了承ください。

10, 28, 47, 48, 53, 54, 62, 63